

平成 26 年度
事業報告書



平成 26 年度福祉絵画コンクール小学高学年の部金賞受賞作品

テーマ：「人間と人間の関わり」

作 者：南郷小学校 中村 梨沙

社会福祉法人
宗像市社会福祉協議会

～もくじ～

1	平成 26 年度事業計画重点項目に関する総括	…	1
2	法人運営に関する業務	…	3
3	福祉の里づくり事業の推進と充実	…	5
4	広報広聴活動の推進	…	14
5	高齢者福祉事業の推進	…	15
6	障がい児者福祉事業の推進	…	16
7	低所得者福祉事業の推進	…	18
8	子育て子育て・母子寡婦福祉支援事業の推進	…	19
9	福祉教育の推進	…	21
10	活動財源の確保	…	25
11	ボランティア活動・市民活動の促進	…	27
12	赤い羽根共同募金運動への協力	…	31
13	障害者生活支援センター運営事業	…	32
14	大島福祉センター「ふれ愛センター」運営事業	…	37
15	介護保険事業の適切な運営	…	37
16	指定障害サービス事業の適切な運営	…	38
17	市受託事業の適切な運営	…	39
18	スマイルハート事業	…	39
19	発達支援センター療育施設「のぞみ園」運営事業	…	40
■	資料集	…	43



平成 26 年度福祉絵画コンクール高校生の部金賞受賞作品

テーマ：「救い」

作 者：宗像高等学校 小室 優生

社会福祉法人 宗像市社会福祉協議会

平成 26 年度

事業報告書

〒811-3437 福岡県宗像市久原 180 番地
Tel : 0940-37-1300 Fax : 0940-37-1393
E-mail : info@syakyo.munakata.com

1. 平成 26 年度事業計画重点項目に関する総括

(1) 今後 10 年間の本会基本方針決定のための第 4 次計画の策定

- 平成 26 年度は、第 3 次地域福祉活動計画（以下「第 3 次計画」という。計画年度平成 22～26 年度）の最終年度になるため、10 月から策定委員会による第 4 次地域福祉活動計画（以下「第 4 次計画」という。計画年度：平成 27～36 年度）の策定を開始し、3 月に第 4 次計画答申書を完成しました。
- 第 4 次計画策定の基礎資料を得るため、第 3 次計画進捗状況調査報告書の作成や市民 2000 人を対象とした「地域福祉の推進に関する市民の意識調査」を実施し、標記調査報告書を作成しました。なお、第 4 次計画書ならびに標記調査報告書については、6 月に本会ホームページで一般公開します。

(2) 誰もが安心して暮らせる地域社会づくりの一助。ライフサポート事業の推進

- ライフサポート事業の安定を図るため、宗像市が主催する「市民後見人養成講座」受講者の中から、利用者を支援する「市民支援員」の確保と増員を行いました。
- さらに、将来的事業展開を考慮し、利用者の死亡後の対処施策（死後事務）や成年後見制度との連携強化策について検討を進めました。

(3) 宗政基金による障害者支援事業の実施

- この基金を活用した事業として平成 26 年度は、以下の事業を行いました。
 - ・車いすのまま乗車できるミニスロープカー（車いす利用者移送車）の導入
 - ・社会的包摂にむけた生涯学習としての福祉教育による第 10 回福祉教育セミナー
 - ・スペシャルオリンピックスへの人的・財政的支援

(4) 新たな地域の福祉課題を解決するための「福祉の里づくり」事業の推進

- 認知症高齢者やその家族への理解と支援を得るための「認知症サポーター養成講座」と、知的・精神・発達障がいがある人やその家族への理解と支援を得るため「十人十色講座（見えにくい障害を理解する研修）」を市民への福祉教育推進事業として積極的に推進しました。
- 小地域ネットワーク活動やいきいきふれあいサロン（介護予防いきいき交流会事業）等を地区福祉会等と協働して推進しました。また、介護予防いきいき交流会事業の拡充については、大島 DE いきいき元気教室ならびに地島ミニデイサービス事業を宗像医師会と協働で推進できるよう努めました。

(5) 障害者生活支援センターならびに障害者虐待防止センター事業の充実

- 国による障がい者福祉に関する法整備は、本会が実施している事業形態にも影響するため、コンプライアンス（法令遵守）の観点からの関係する事業の見直しと適正化を行いました。
- 障害者生活支援センターについては、基幹型相談支援事業所でもあるため、一般相談支援事業所が作成する「支援計画」の質の向上を図るため指導・支援内容の充実を図るとともに、指導・支援する本会職員の資質の向上も図りました。
- 障害者虐待防止センター事業については、まだまだ市民に知られていない、関心を持ってもらえていない現状があるため、相談支援事業を対象として「障害者虐待防止セミナー」の実施や、パンフレットの配布などにより市民や関係者への周知を図りました。

(6) 介護サービス事業経営の安定化とお客様へのサービスの充実

- 介護保険制度の改正に対処するため、情報収集や分析・検討に努め、必要な対策について検討しました。
- 本会各部署との連携強化、本会独自の人財(材)養成、職員のスキルアップ、他事業所との情報交換、新たな事業展開の検討等を実施することにより、お客様と人財(財)の確保、経営の安定化に努めました。
- 居宅介護サービス事業で働く介護職の人材不足が深刻であり、本会でも新たな人材確保が困難で、職員への業務負担が増えるなど、職員体制において影響を受けました。しかし、年度末には、人材確保の努力が実り人員体制を整えることができました。

(7) 宗像市発達支援センター療育施設のぞみ園の経営改善とサービスの充実

- 発達支援センターの療育部門として、一体的な事業を展開するとともに連携を図り、発達に課題のある幼児に対し、相談から療育まで統一的な発達の支援を行うとともに、保護者や発達に課題のある子どもに対しては、サービス等利用計画に基づいて個別支援計画を作成し、支援計画に添った療育の実施・評価・見直しを行いました。
- 発達に課題のある幼児や、その保護者のニーズに合わせた、個別指導やグループ指導などによる多様な療育を充実させる。また、定期的に保護者からの聞き取りを行い、現状における評価とニーズを捉えた上で、個別支援会議を実施し、療育内容の見直しやクラス編成等の見直しを行いました。
- 保育所・幼稚園との連携を図ることで、より良い療育支援を行っていくとともに、保育所や幼稚園の未就園幼児については、療育の機会を増やすことで、よりスムーズに就園へ向かえるよう、ニーズに応じた利用ができる枠を設けました。
- 「のぞみ園」が発達に課題のある幼児らの受け皿として機能していくため、療育の資質向上と職員のスキルアップを目的とした、視察研修や各種研修会への参加、症例検討会、園内研修会等を実施しました。

2 法人運営に関する事業

(1) 本会の運営に関する事業

①理事会の開催 4回開催 15議案

開催時期・会場	議案番号	議案	議決(承認)月日
【第1回】 ■5月29日 ■メイトム宗像 203会議室	第1号	副会長の選任について	5月29日
	第2号	評議員の同意について	
	第3号	平成25年度事業報告について	
	第4号	平成25年度決算報告ならびに監査報告について	
	第5号	追加議案 評議員の同意について	
【第2回】 ■6月30日 ■メイトム宗像 201会議室	第6号	評議員の同意について	6月30日
【第3回】 ■7月23日 ■メイトム宗像 201会議室	第7号	会長・副会長の選任について	7月23日
	第8号	常務理事の同意について	
	第9号	専門委員会委員の選任について	
【第4回】 ■3月30日 ■メイトム宗像 201会議室	第10号	評議員の同意について	3月30日
	第11号	専決処分の承認について(平成26年12月19日 職員給与規程の一部改正)	
	第12号	職員給与規程の一部改正について	
	第13号	職員の初任給、昇格、昇給等の基準に関する規則の一部改正について	
	第14号	平成27年度 事業計画(案)について	
第15号	平成27年度 事業予算(案)について		

②評議員会の開催 2回開催 6議案

開催時期・会場	議案番号	議案	議決(承認)月日
【第1回】 ■5月29日 ■メイトム宗像 202会議室	第1号	平成25年度事業報告について	5月29日
	第2号	平成25年度決算報告ならびに監査報告について	
【第2回】 ■7月18日 ■メイトム宗像 202会議室	第3号	理事の選任について	7月18日
	第4号	監事の選任について	
【第3回】 ■3月30日 ■メイトム宗像 101会議室	第5号	平成27年度 事業計画(案)について	3月30日
	第6号	平成27年度 事業予算(案)について	

③任期満了にともなう理事・評議員の改選

- 理事：次期任期 平成26年7月23日～平成28年7月22日(12人欠員無)
- 監事：次期任期 平成26年7月23日～平成28年7月22日(2人欠員無)
- 評議員：次期任期 平成26年7月11日～平成28年7月10日(27人欠員無)

(2) 定款・諸規程の整備

- 定 款：平成 26 年度は、定款の変更なし
- 諸規程：職員給与規程の一部改正（平成 26 年 12 月 19 日）
職員給与規程の一部改正（平成 27 年 3 月 30 日）
職員の初任給、昇格、昇給等の基準に関する規則の一部改正（平成 27 年 3 月 30 日）

(3) 経営戦略会議の開催

- 事業説明：本会の運営に関する諸事項について基本的の方針を検討・決定する会議。
- 出席者数：会長・常務理事・事務局長・福祉企画課長・居宅介護課長
- 開催時期：毎月第 4 火曜日

(4) 計画的な職員研修の開催

- 事業説明：社会福祉の現場で働く職員として、必要な人権や接遇等の研修を行っている。

実施事業	実施時期	主な活動内容
規採用職員研修	■4月8日 ■メイトム宗像 204 会議室	対象者：4月1日新規採用職員 出席者数：3人（常勤嘱託職員1人・臨時職員2人） 内 容：社会福祉協議会や地域福祉、本会諸規程や担当事業 に関する事業（職務）等について
接遇研修	■9月11～ 1月19日（10回） ■宗像市役所内 会議室	対象者：原則として常勤日勤臨時職員以上。宗像市役所職員 出席者数：31人 内 容：宗像市職員研修に本会職員も参加させてもらい、ビ ジネスマナーや電話・苦情対応等について学習した。
安全運転管理者 講習会	■6月17日 ■宗像ユリックス	対象者：福祉企画課長・居宅介護課長 出席者数：2人 内 容：道路交通法に定められた正副安全運転管理者の講習 会。
職員人権研修会	■3月13日 ■メイトム宗像 202 会議室	対象者：原則として常勤日勤臨時職員以上。宗像市役所職員 出席者数：42人 演 題：障がい者や高齢者の虐待防止、人権・権利擁護につ いて 講 師：藤本 美佐子 弁護士（藤本美佐子法律事務所） ※現福岡市社会福祉協議会で福祉サービス苦情解決第三者委 員会委員・福岡県弁護士会福岡県高齢者虐待対応チーム運 営管理委員会委員

(5) 新法人会計システムの運営

- 事業説明：平成 26 年度に厚生労働省の指導により全国社会福祉協議会が定めた社会福祉法人の
新会計基準に準拠した会計システムを導入。平成 28 年度完全実施に対処済。

(6) 定例監査の実施

- 事業説明：法人の適切な経営を行うため、年3回定期的に監査員による会計等の監査を実施。
監査の結果については、年度の第1回理事会・評議員会にて結果を公表している。

(7) 労働安全衛生委員会の実施

- 事業説明：本会の労働安全衛生や労働環境に関する諸事項について、基本的の方針を検討・決
定する会議。
- 出席者数：事務局長・福祉企画課長・居宅介護課長・衛生管理者・部門別代表等 計 10 人
- 開催時期：偶数月第 2 金曜日

(8) 法人事務等の IT 化の推進と管理

- 事業説明:平成 26 年度中に Microsoft 社の OS「WindowsXP」のサポートが終了するため、「IT」に関する本会の安全管理体制の充実を図りました。平成 26 年度の主な改善点は、下記のとおりです。
- Microsoft 社の OS 「WindowsXP」 のサポート終了にともない、のぞみ園で職員が使用するパソコンの入れ替えを行うとともに、無線 LAN による「ネットワーク化」と「ファイルサーバー化」を実施。

(9) 第 4 次地域福祉活動計画の策定

①計画策定の基礎資料とするための社会福祉調査の実施

- 事業説明:「地域福祉の推進を考える市民の意識調査」の実施。
- 調査対象者:宗像市住民基本台帳から地区別・男女別・年齢別に割合を考慮し 2,000 人を選び調査を依頼。調査方法は郵送方式。
- 実施方法:◎宗像市健康福祉部保健福祉政策課と協働(共催)して調査を実施
◎調査の集計・分析、報告書の作成は国立大学法人福岡教育大学に委託
- 調査の期間:平成 26 年 6 月末から 7 月末までの 30 日間
- 成果物:地域福祉の推進を考える市民の意識調査報告書

②第 4 次計画策定委員会の設置

- 事業説明:第 4 次計画を策定するための策定委員会の設置と運営
- 実施方法:第 4 次地域福祉活動計画策定委員会設置要綱を設置し、選出された策定委員により 5 回の策定委員会で様々な課題について慎重に審議しました。
- 策定期間:平成 26 年 10 月から平成 27 年 3 月までの間
- 成果物:第 4 次地域福祉活動計画答申書

3 福祉の里づくり事業の推進と充実

(1) 福祉会組織化・育成事業

①福祉会組織化・育成事業

■福祉会とは

福祉会は、自分の住んでいる地域を住民の手で(=参画・協働)誰もが生活しやすいように(=共生社会)活動を行う(=福祉力を高める)住民の自主的な組織です。また、自治会単位(小地域)の福祉会を「小地域福祉会」、地区単位の福祉会を「地区福祉会」と称しています。

■福祉会組織化の経緯

福祉会は、宗像市社会福祉協議会基盤強化計画書(昭和 61 年 1 策定)にて、“活動のための組織体制強化策”として採用した事業です。昭和 62 年に「小地域福祉会組織化事業」が開始され、翌昭和 63 年 4 月に自由ヶ丘地区に本市で初めての福祉会「自由ヶ丘地区社会福祉会(現:自由ヶ丘地区福祉会)」が発足しました。その後、各地に福祉会を組織化。平成 10 年 7 月 10 日に赤間西地区福祉会が発足し、旧宗像市においては市内 8 地区全域に福祉会が組織化されました。平成 15 年 4 月 1 日に玄海町と宗像市が合併、これに伴い両社会福祉協議会も平成 15 年 3 月 31 日に合併、新たな福祉会の組織化が平成 15 年度再開されました。平成 15 年 9 月 21 日に神湊地区福祉会が発会、平成 16 年 1 月 25 日の田島地区福祉会の発会をもって、旧玄海町 4 地区(市内 12 地区)全域に地区福祉会が組織化されました。平成 17 年 3 月 31 日には、本会が大島村社会福祉協議会と合併したのを機に、大島村福祉会(現:大島地区福祉会)が宗像市 13 番目の地区福祉会となりました。

■各福祉会の取り組み

※【 】は地区福祉会

地 区	福祉会名	主な活動内容
吉武地区	【吉武地区福祉会】	楽しく食べて語るバスハイク、介護予防いきいき交流会事業/すみれサロン(9回)、孝行ネットの推進、理事役員研修、学童ふれあい活動、ボランティア育成、世代間交流事業
赤間地区	【赤間地区福祉会】	小地域福祉会情報交換会、救急キット配布および見守りネットワーク活動について地区内代表者会議、先進地視察研修、高齢者閉じこもり予防食事会、広陵台1丁目福祉会結成支援
	赤間区福祉会	介護予防いきいき交流会事業(10回)、市民花壇整備、1日バスハイク、ふれあい研修会(ソフトヨガ講習&親睦会)、ラジオ体操
	石丸区福祉会	1人暮らし高齢者見守り訪問活動(月1回)、世代間交流事業(バスハイク、芋掘り、どんど焼き)、ロコモ防止推進委員養成講座出席、ニュースポーツと茶話会、広報誌発行2回、介護予防いきいき交流会事業(1回)
	徳重区福祉会	介護予防いきいき交流会事業(手打ちそば食事会、バスハイク、しめ縄づくりなど6回)、子ども夏休み学習会、道路クリーン活動、世代間交流事業(どんど焼き)、
	田久区福祉会	介護予防いきいき交流会事業(10回)、障害者激励プレゼント訪問、バスハイク
	陵巖寺区福祉会	ふれあい会食会(双葉会/9回)、広報紙発行年6回、1日バスハイク、高齢者料理教室、友愛見守り活動、世代間交流事業(ニュースポーツ大会、昔遊び伝承、餅つき大会)
	三郎丸団地区福祉会	いきいき親睦会(6・9・12月)、声かけ安全確認、いきいき新緑鑑賞会、敬老の日記念品贈呈、介護予防いきいき交流会事業(3回)
	広陵台1丁目福祉会	【平成26年8月発会】 介護予防いきいき交流会(4回)、子ども登下校見守り事業、ラジオ体操、歴史探訪ハイキング、朝カフェ
	葉山区福祉会	ふれあい昼食会(お花見、あじさい祭りなど4回)、介護予防いきいき交流会事業(6回)、先進地視察研修、世代間交流事業(イモ苗植え、芋掘りぜんざい、七夕など5回)、葉山まつり、新春三社参り、バスハイク
	名残区福祉会	敬老祝賀会、高齢者閉じこもり解消事業
	富地原区福祉会	ふれあい清掃活動(17回)、広報活動(6・11・3月)、介護予防いきいき交流会事業(5回)、世代間交流事業(しめ縄作り・どんど焼き)、
	赤間西地区	【赤間西地区福祉会】
土穴区福祉会		地域ボランティア登録事業への取り組み、福祉員による見守り訪問活動、介護予防いきいき交流会事業(11回)、乙女の会(女性独居高齢者の会)・金太郎会(男性独居高齢者の会)の開催
城ヶ谷区福祉会		地域ボランティア登録事業への取り組み、介護予防いきいき交流会事業(あすなろ会/10回)、ふれあいラジオ体操、独居高齢者との懇談会、見守り声かけ助け合い、刃物研ぎ、保育園児と高齢者とのふれあい活動、福祉だよりの発行

	赤間ヶ丘1区福祉会	地域ボランティア登録事業への取り組み、介護予防いきいき交流会事業(7回)、福祉会便り発行
	赤間ヶ丘2区福祉会	地域ボランティア登録事業への取り組み、介護予防いきいき交流会事業(8回)、バスハイク、敬老祝賀会、広報「ふれ愛」の発行、見守り助け合い「向こう三軒両隣り安心運動」パトフラッシュによる緊急時の自発的警報発信の取組
	三郎丸区福祉会	地域ボランティア登録事業への取り組み、介護予防いきいき交流会事業(3回)、世代間交流事業(干灯明祭支援)、刃物研ぎ、高齢者への見守り声かけ活動、広報活動、登校時の声かけ
	城山区福祉会	地域ボランティア登録事業への取り組み、介護予防いきいき交流会事業(10回)、ラジオ体操、子ども見守り活動、刃物研ぎ
	大谷区福祉会	地域ボランティア登録事業への取り組み、敬老祝賀会、介護予防いきいき交流会事業(8回)、高齢者の見守り(災害時要援護者支援)
	泉ヶ丘1丁目福祉会	地域ボランティア登録事業への取り組み、介護予防いきいき交流会事業(6回)、敬老祝賀会、わんわんパトロールの実施、刃物研ぎ、ボランティアだよりの発行
	泉ヶ丘2丁目福祉会	地域ボランティア登録事業への取り組み、介護予防いきいき交流会事業(7回)、どんど焼き、七夕会、敬老祝賀会、世代間交流事業
	マンション土穴1区	介護予防いきいき交流会事業(3回)
自由ヶ丘地区	【自由ヶ丘地区福祉会】	福祉委員による見守りネットワーク活動(65歳以上独居者・80歳以上の高齢者・その他対象者)、介護予防いきいき交流会事業(10ヶ所/68回)、いきいきふれあいサロン代表者会議の開催、小地域福祉会の組織化の推進、福祉だより「ほほえみあい」、ミニ広報「お元気ですか」の発行、福祉情報連絡会の開催(区会単位で年6~12回開催)、民生委員との懇談会、福祉委員連絡会、福祉委員研修会、小地域福祉会組織化の推進
河東地区	【河東地区福祉会】	情報交流会、ボランティア研修、視察研修、役員会
	須恵区福祉会	高齢者バスハイク、視察研修、見守り訪問活動、介護予防いきいき交流会事業(4回)、福祉だよりの発行
	稲元区福祉会	ひとり暮らし高齢者訪問活動、世代間交流会、バスハイク、介護予防いきいき交流会事業(6回)、ボランティア研修会
	福崎区福祉会	三世代交流会、介護予防いきいき交流会事業(4回)、ボランティア研修会
	ひかりヶ丘福祉会	福祉講演会、世代間交流事業、フリーサロン、バスハイク、介護予防いきいき交流会事業、見回り訪問活動、声かけ安全パトロール、刃物研ぎ
	城西ヶ丘区福祉会	おしゃべりサロン、ふれあいバスハイク、夏祭り、視察研修、介護予防いきいき交流会事業(4回)
南郷地区	【南郷地区福祉会】	福祉協力員研修(2回)、バスハイク(2回)、楽しく食べて語ろう会【楽食会、世代間交流】(2回)、先進地視察研修、シルバー農園、介護予防いきいき交流会事業(13か所/63回)、ふれあい見守り活動、どんど焼き、わくわく交流会、敬老の日の宛名書き、愛の年賀状宛名書き

東郷地区	【東郷地区福祉会】	福祉講演会、医療講演会、福祉委員研修及び会議（10回）、赤い羽根ふくし事業、シルバー農園、ひとり暮らし高齢者バスハイク、理事及び福祉委員合同視察研修、福祉だよりの発行、介護予防いきいき交流会事業
日の里地区	【日の里地区福祉会】	ネットワーク推進会議（町内会長や民生委員との交流会など）、福祉員のための福祉講座、ふれあい昼食会、おもちゃ病院、視察研修、シルバー農園、福祉員の集い、介護予防いきいき交流会事業、「日の里の福祉計画」の周知・推進、各町内会福祉会による活動
神湊地区	【神湊地区福祉会】	ひとり暮らし高齢者バスハイク、ふれあいクリスマス会、花いっぱい見守り訪問活動、介護予防いきいき交流会事業（21回）、理事・福祉協力員研修会（2回）
池野地区	【池野地区福祉会】	介護予防いきいき交流会事業（5か所/21回）、【田野区サロン（2回）、玄海ニュータウンサロン（1回）、桜町サロン（1回）、公園通りサロン（2回）やまびこサロン（11回）池野地区サロン（4回）七夕会、クリスマス会、ひなまつり】ひとり暮らし高齢者バスハイク、アオキ会ボランティア研修
岬地区	【岬地区福祉会】	ふれあいバスハイク、ひとり暮らし高齢者お誕生日訪問、視察研修、介護予防いきいき交流会事業、ふれあいクリスマス会
田島地区	【田島地区福祉会】	一人暮らし花いっぱい見守り訪問、ひとり暮らし高齢者バスハイク、ふれあいクリスマス会、介護予防いきいき交流会（11回）、理事研修会（2回）
大島地区	【大島地区福祉会】	葬祭用具貸出し事業、各区対抗スポーツ大会、敬老会、新成人式を祝う会、山笠・盆踊りまつり支援

②福祉会新役員研修会

■事業説明：福祉会の新任役員を対象に福祉会活動についての研修を行いました。

実施時期	場 所	主な内容
6月4日	メイトム宗像 202会議室	内 容：①福祉会活動について ②いきいきふれあいサロン（介護予防いきいき交流会事業）について・他 参加者：福祉会の新任役員 23人

③災害時要援護者の把握も含めた小地域ネットワーク活動の充実

■事業説明：小地域ネットワーク活動とは、民生委員児童委員と福祉会の地域ケア型ボランティア、老人クラブや地域の事業所が連携・協力して、単身高齢者世帯等への定期的な見守り・訪問活動・できる範囲での生活援助活動などを行う活動。

（2）介護予防いきいき交流会事業の実施と事業の充実（市委託事業）

①介護予防いきいき交流会事業

- 事業説明：高齢者の閉じこもり予防や日常の健康を維持することを目的とした「サロン活動」を活用し、さらに介護予防の内容を充実させた事業を行っています。なお、介護予防いきいき交流会事業には、「地島ミニデイサービス」と「大島DEいきいき元気教室」も含まれています。
- 事業内容：●各区、町内会で行われている高齢者等を対象にしたサロン活動において、血圧、体脂肪等の測定及び簡単な健康相談などの健康チェックを実施。
●介護予防メニューとして、口腔ケア、栄養指導、運動指導を実施。
- 運営体制：市から本会への委託事業。各福祉会が実施し、本会は支援、協力、調整などを行っています。

地区ごとの実施状況	開催箇所 (単位:ヶ所)	開催回数 (単位:回)	栄養指導 (単位:回)	口腔ケア (単位:回)	運動指導 (単位:回)
吉武地区	8	9	4	1	2
赤間地区	9	60	4	3	2
赤間西地区	10	70	5	4	4
自由ヶ丘地区	11	68	2	1	5
日の里地区	12	52	0	0	1
南郷地区	13	63	7	1	7
河東地区	7	30	5	0	5
東郷地区	11	58	4	2	3
池野地区	5	21	4	0	4
田島地区	1	11	1	0	1
神湊地区	3	21	2	2	3
岬地区	2	2	0	0	0
合計	92	465	38	14	37

- 事業実績：●延べ参加者数：8,889人（65歳以上）・1,241人（64歳以下）
- 延べ従事者数：4,634人
- 合計：14,764人

②介護予防いきいき交流会事業推進協力者研修の実施

- 事業説明：いきいきふれあいサロン活動の内容の充実と活動に関わる人材育成を目的に研修会を開催。
- 実施期日：平成27年3月14日（土）13:00～16:00
- 実施場所：メイトム宗像 多目的ホール
- 活動内容：講演、レクリエーション実践の2部構成で研修会を実施。
 - ◇講演会Ⅰ 「サロン活動の可能性 地域の課題解決のために」
講師 九州大学大学院 人間環境学研究院 共生社会学講座 教授 高野和良 氏
 - ◇講演会Ⅱ 「あなたのカラダは必ず若返る、今日から始めても遅くない健康づくり運動のススメ」
講師 福岡市健康づくりサポートセンター 工学博士（運動生理学） 佐藤 広徳 氏

参加者数	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	266人	237人	130人

③地島ミニデイサービス事業の改善と適切な運営

- 事業説明：離島の高齢者の健康増進と介護予防を目的とした事業。毎回健康チェックを実施している。
- 実施場所：宗像市老人福祉センター宗寿園、地島白浜公民館

実施時期	参加者数	主な活動内容
6月17日	9人	内容：ケアボックス、今年度ミニデイの話し合い
7月17日	11人	内容：心と体が元気になる秘訣(和白病院：山本聖氏)、舞踊鑑賞「千寿佳扇」、買物
8月21日	6人	内容：心と体をリフレッシュ～運動と体のほぐし(アクアドーム)、舞踊鑑賞「大滝昇」、買物
9月25日	10人	内容：ミュージックケア(講師：本田美子氏)、買物
10月16日	6人	内容：お出かけ音楽隊演奏会、舞踊鑑賞「大滝昇」、買物
11月26日	17人	内容：転倒予防のコツ午前の部と午後の部(赤間病院理学療法士：中山博文氏)

2月4日	12人	内 容:転倒予防のための運動 午前の部と午後の部(アクアドーム運動指導士)
------	-----	---------------------------------------

④大島 DE いきいき元気教室の適切な運営

- 事業説明：離島の高齢者の健康増進と介護予防を目的とした事業。
- 実施場所：大島ふれあいセンター

実施時期	参加者数	主な活動内容
4月17日	21人	スタッフ紹介、体力測定、レクリエーション(数字合わせ)、悠々体操
6月19日	25人	血圧測定、準備体操、風船バレー大会、悠々体操
9月18日	18人	血圧測定、体力測定、お手玉棒倒し、悠々体操
11月20日	20人	血圧測定、準備体操、パターゴルフ、悠々体操
1月22日	22人	血圧測定、準備体操、体力測定、○×クイズ、悠々体操
3月19日	21人	血圧測定、準備体操、ピンポン玉入れゲーム、賞状渡し、悠々体操

(3) 地区福祉会連絡協議会の活動状況

- 事業説明：福祉会相互の情報交換、交流、研修等を通じ、それぞれの地域における福祉会活動を促進するとともに、市民参画型の地域福祉活動の充実を図ることを目的に平成9年設置。各地区福祉会の会長、事務局長等、代表2名で構成しています。

実施事業	実施時期	主な活動内容
理事会(総会)	5月30日	①平成25年度事業報告・決算報告及び監査報告について ②平成26年度事業計画・予算について
先進地視察研修	6月26～27日	研修先：山口県山口市社会福祉協議会阿知須支部 研修内容：①阿知須支部の概要について ②365日切れ目ない友愛訪問活動について ③質問・意見交換について
第1回 情報交換会	6月27日	先進地視察研修2日目に実施 テーマ：①日の里の福祉計画について、②つながりづくりのための地域福祉活動について
第2回 情報交換会	12月11日	テーマ：見守りネットワーク活動 発表地区：池野地区/河東地区/赤間地区

(4) 宗像市民生委員児童委員協議会と連携・支援

- 事業説明：宗像市民生委員児童委員協議会と連携・協働して小地域ネットワーク活動の推進、生活福祉資金の運営、歳末たすけあい募金、その他多くの地域福祉活動を推進しています。

- 宗像市民生委員児童委員協議会への活動費補助金の交付

補助金交付額	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	299,000円	299,000円	299,000円

(5) 宗像市老人クラブ連合会(現：宗像市シニアクラブ連合会)と連携・支援

- 事業説明：宗像市老人クラブ連合会と連携・協働して小地域ネットワーク活動やいきいき介護予防交流会事業の推進、赤い羽根共同募金やその他多くの地域福祉活動を推進しています。

- 宗像市老人クラブ連合会への活動費補助金の交付

補助金交付額	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	512,000円	512,000円	512,000円

(6) 福祉バス貸出事業の適切な実施

■事業説明：研修や社会参加活動のため、福祉バスの貸出を行いました。

貸出件数	平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度	
	実績	前年比較	実績	前年比較	実績	前年比較
	99 件		110 件		104 件	

(7) ライフサポート事業の実施

① ライフサポート事業(地域福祉権利擁護事業)

■事業説明：本会独自事業として、高齢者、精神障がいがある人、知的障がいがある人などで、判断能力が不十分な人の権利を擁護し、自分の意思に基づいて安心した生活を送ることができるよう支援する事業を平成 25 年 8 月 1 日から実施しました。本事業の利用の可否等を専門的な立場で判断する「運営審議会」の設置、市民後見人の養成の一環として「市民生活支援員」の登録を行っています。また、生活保護者を主とした従来からの県社会福祉協議会実施主体の「日常生活自立支援事業」もあわせて実施しています。

■支援内容：①生活支援サービス…定期訪問による見守り、郵便物の管理 等
②生活費管理サービス…福祉サービス利用援助、日常必要な預貯金の出し入れ 等
③通帳等預かりサービス…預貯金の通帳の保管や管理 等

■職員体制：生活支援員 4 人（うち 3 人は兼務）、市民生活支援員 6 人登録

■ライフサポート事業利用実績

項目	平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度	
	実績	前年比較	実績	前年比較	実績	前年比較
高齢者	—	—	8 人	—	12 人	4 人
知的障害者	—	—	9 人	—	11 人	2 人
精神障害者	—	—	4 人	—	8 人	4 人
その他	—	—	1 人	—	2 人	1 人
小計	—	—	22 人	—	33 人	11 人
解約	—	—	3 人	—	4 人	1 人
合計	—	—	19 人	—	29 人	10 人

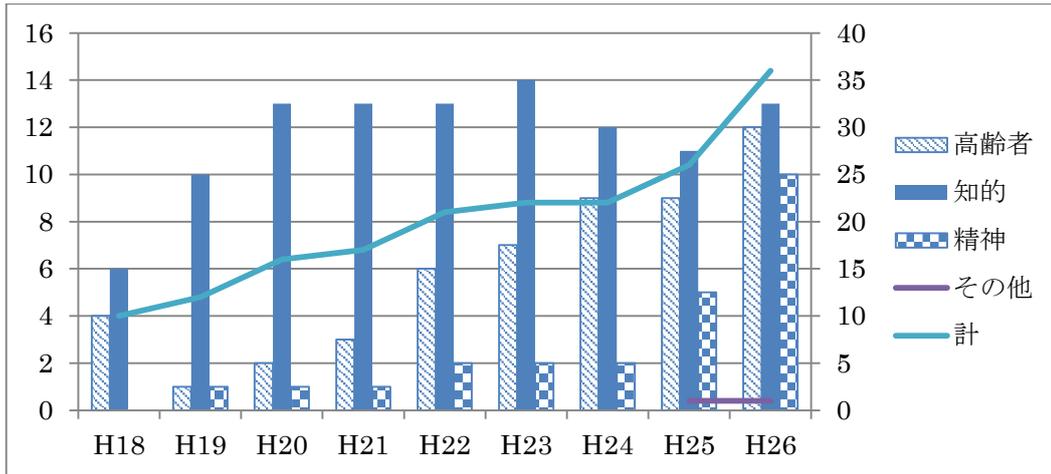
■ライフサポート事業利用内容

項目	平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度	
	実績	実績	実績	前年比較	実績	前年比較
生活支援サービス	—	—	22 人	—	33 人	11 人
生活費管理サービス	—	—	18 人	—	23 人	5 人
通帳等預かりサービス	—	—	16 人	—	21 人	5 人

※日常生活自立支援事業利用実績（県社会福祉協議会委託事業）

項目	平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度	
	実績	前年比較	実績	前年比較	実績	前年比較
高齢者	9 人	2 人	7 人	-2 人	5 人	-2 人
知的障害者	12 人	-2 人	6 人	-6 人	2 人	-4 人
精神障害者	2 人		2 人		3 人	1 人
その他	0 人		0 人		0 人	0 人
小計	23 人		15 人	-8 人	10 人	-5 人
解約	1 人		9 人	8 人	1 人	-7 人
合計	22 人		6 人	-16 人	9 人	3 人

■年度別両事業利用者内訳表



②運営審議会の開催

■審議委員：弁護士、宗像・遠賀保健福祉環境事務所（健康増進課精神保健係長）、宗像市役所（保健福祉政策課保健福祉政策係長、福祉課障害者福祉係長、高齢者支援課地域包括支援係長）、社会福祉協議会（福祉企画課長） 計6人

■開催日程と主な内容

項目	実施時期	主な内容
第6回審議会	4月16日	内 容：①委嘱状の交付 ②契約状況について ③審議 審議人数：4人（新規：1401～1404）
第7回審議会	6月25日	内 容：①契約状況について ②審議 審議人数：5人（新規：1405～1409）
第8回審議会	8月29日	内 容：①契約状況について ②解約について ③審議 審議人数：4人（新規：1410～1413）
第9回審議会	10月27日	内 容：①契約状況について ②審議 審議人数：4人（新規：1414）
第10回審議会	12月17日	内 容：①契約状況について ②利用料の減免等に関する要綱について ③審議 審議人数：1人（新規：1415）
第11回審議会	2月18日	内 容：①契約状況について ②利用料の減免等に関する要綱について ③審議 審議人数：1人（新規：1416）

③その他の活動

項目	実施時期	主な内容
ケース会議	月1回	内 容：個別ケースの支援内容の検証と情報の共有化のための会議を毎月行いました。
市民支援員を含むケース会議	4月2日	内 容：①辞令交付 ②市民支援員の業務について ③事例検討
市民支援員を含むケース会議	9月29日	内 容：①市民支援員の業務についての確認 ②日ごろの活動から
市民後見人養成講座	月1回	内 容：NPO 法人高齢者障害者安心サポートネットが市の委託を受けて実施する講座に参加した。
県日常生活自立支援事業第1回契約締結審査会	5月21日	内 容：県社協が実施する日常生活自立支援事業の契約締結審査会に参加した。 場 所：クローバープラザ
県社会福祉協議会生活支援員研修	1月10日	内 容：精神障害に関する理解と相談援助技術について 場 所：クローバープラザ

(8) 心配ごと相談所設置事業

■事業説明：心配ごと相談所への相談は、近年多様化・増加しています。主に人権・法律、財産、離婚、家族関係の相談が全体の約7割を占めています。相談員は3人で、相談は個別（個室）面接方式で行っています。

■相談日：①毎月第1・2・4木曜日・場所：市役所1階

②偶数月第3木曜・場所：日の里コミセン

③奇数月第3木曜・場所：自由ヶ丘コミセン

■相談員：3人 ■相談件数合計：480件 ■利用者数：200人

■相談件数及び相談内容

内 容		人 権 法 律	財 産	家 族 関 係	離 婚 結 婚	生 計 年 金	住 宅	事 故	健 康 医 療	職 業 生 業	苦 情	福 祉 関 係	そ の 他	合 計
件 数	平成24年度	146	94	111	55	37	39	10	26	5	7	11	19	560
	平成25年度	125	110	95	66	57	56	2	15	9	7	16	27	585
	平成26年度	113	106	84	43	36	35	8	5	2	8	11	29	480

(9) 災害援助ボランティア活動連絡協議会の運営

①福津市・古賀市社会福祉協議会と災害時相互協力協定を締結

■事業説明：宗像市や福津市、古賀市で自然災害などが発生した場合、各社会福祉協議会が連携協働して災害救援ボランティア活動を行うための協定を締結しました。

■場 所：古賀市のサンコスモ古賀

■期 日：平成26年9月25日

②宗像青年会議所と災害時相互協力協定を締結

■事業説明：福津市・古賀市社会福祉協議会との災害時相互協力協定締結と同時に、宗像青年会議所とも災害時相互協力協定を締結。福岡県内における社会福祉協議会間の災害時相互協力協定については、福岡県社会福祉協議会が指導推進していましたが、宗像青年会議所が宗像市・福津市・古賀市社会福祉協議会との災害時相互協力協定締結を強く求めたことにより、三社会福祉協議会と宗像青年会議所との災害時相互協力協定の締結が実現しました。

■場 所：古賀市のサンコスモ古賀

■期 日：平成26年9月25日

(10) 宗像市遺族会連合会活動への助成

■事業説明：宗像市遺族会連合会へ活動費補助金の交付を行っています。

■宗像市遺族会連合会へ活動費補助金の交付。

補助金交付額	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	923,000円	894,000円	1,099,000円

4 広報広聴活動の推進

(1) 社協だよりの発行

■事業説明：市広報紙タウンプレスむなかたを利用して年6回（偶数月の1日号）発行。市民に地域福祉や本会活動についての理解と啓発を図っています。

実施時期	記事の内容
■第151号 4月1日発行 (2項)	福祉教育読本「ともに生きる」感想文と福祉絵画コンクール、シリーズ⑩「赤間ヶ丘2区福祉会見守りパトフラッシュ」、チャリティボウリング大会お礼、相談場所変更、ボランティアセンター通信（おもちゃ図書館お知らせ・ボランティア活動保険・V-net登録更新お知らせ・手話講習会受講者募集）、他
■第152号 6月1日発行 (2項)	平成26年度社会福祉協議会事業計画・予算、社会福祉協議会評議員市民公募、在宅介護者応援セミナー案内、イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン贈呈式、障害者生活支援センター（ピアサポート事業参加者募集と報告）ボランティアセンター通信（手話講習会受講者募集・点字版時刻表案内）、他
■第153号 8月1日発行 (2項)	シリーズ⑪「認知症サポーター養成講座紹介」、平成25年度社会福祉協議会決算報告、在宅介護者1泊リフレッシュセミナー案内、地域福祉文庫講演会参加者募集、ボランティアセンター通信（ジュニアボランティアスクール参加者募集・おもちゃ図書館休館日）、寄付謝礼（施設訪問ボランティア「マーガレット」）、他
■第154号 10月1日発行 (3項)	共同募金協力のお願い（前年度実績額、使いみち、計画募金、目標額、目安額、支えられている募金）シリーズ⑫共同募金の活用事業「宗像市あゆみの会」、市民策定委員募集、障害者生活支援センター（ピアサポート事業参加者募集・報告）、ボランティアセンター通信（福祉ボランティア連絡協議会30周年記念式典開催・ジュニアボランティアスクールより）車イス移送車寄贈、他
■第155号 12月1日発行 (2項)	シリーズ⑬「安心して徘徊できるまちづくり」、歳末たすけあい募金協力依頼、3社協災害時連携協定調印式、イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン贈呈式、ボランティアセンター通信（福祉ボランティア連絡協議会30周年記念式典開催・ボランティア入門講座より・おもちゃ図書館休館日）、絵画寄贈、他
■第156号 2月1日発行 (3項)	歳末募金謝礼及び寄付者名簿、大島中歳末街頭募金隊、赤い羽根共同募金お礼・イベント募金活動、ボランティアセンター通信（福祉ボランティア連絡協議会30周年式典より・福祉ボランティア養成講座開催・おもちゃ寄贈謝礼）障害者生活支援センター（ピアサポート事業参加者募集・報告）、他

(2) 本会ホームページの管理・運営

①ホームページの管理・運営

■事業説明：インターネットを利用して市内外の人々に24時間体制で情報を提供するとともに、「社協だより」や「ボランティアセンターだより」、また本会の各種計画や地区福祉会の地域福祉活動計画等のデータベース化を図っています。

■実施内容：本会ホームページの管理・運営を行いました。「バナー」広告に関しては、空きがないように努め、全区画ご利用いただいています。なお、平成25年度よりアクセスログイン数については、より正確な数値を得るため、集計方法を改めた（高機能なアクセスログ解析ツールである「グーグルアナリティクス」に変更した）。

アクセス ログイン数	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	82,388件	28,064件	33,464件
	—	—	119.2%

②本会ホームページによる業務管理システムの運営と新システムの開発・導入

■事業説明：本会の各部署が市内に分散して存在するため、本会ホームページやインターネットを利用して、効率的で効果的な情報伝達・情報共有ができるシステムの開発を行った。

■実施内容：今回のシステム開発は、文書管理システム。文書管理システムを開発、施行したことにより、全ての部署で公文書に関する様々な手続きが効率化された。

5 高齢者福祉事業の推進

(1) 宗像市在宅介護者支援事業(市委託事業)

■事業説明：在宅で家族の介護をしている介護者に、より良い介護が継続できるように、介護研修やリフレッシュ事業を行っています。

実施事業	実施時期	主な活動内容
在宅介護者応援セミナー	7月18日	研修先：トヨタハートフルプラザ福岡（福岡市） 講師：同職員 内容：福祉車両の見学・説明について 参加者数：11人
一泊リフレッシュセミナー	10月21～22日	訪問先：長崎県雲仙市 他 宿泊先：富貴屋（長崎県雲仙市小浜町雲仙 320） 内容：滞在型リフレッシュ事業 参加者数：17人
一日リフレッシュセミナー	12月11日	訪問先：三宜楼（北九州市） 内容：交流会型リフレッシュ事業 参加者数：20人

(2) 在宅介護家族の会ひまわり活動助成支援

■事業説明：在宅で家族の介護をしている介護者の当事者組織である「ひまわり」に、人的・資金的支援を行っています。

■宗像市在宅介護家族の会“ひまわり”への活動費補助金の交付

補助金交付額	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	116,000円	126,000円	130,000円

(3) 宗像市老人クラブ連合会（現：宗像市シニアクラブ連合会）と連携・支援

■事業説明：宗像市老人クラブ連合会と連携・協働して小地域ネットワーク活動やいきいき介護予防交流会事業の推進、赤い羽根共同募金やその他多くの地域福祉活動を推進しています。

■宗像市老人クラブ連合会への活動費補助金の交付

補助金交付額	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	512,000円	512,000円	512,000円

(4) 鍼灸治療費補助事業

■事業説明：高齢者の健康維持のため、社会保険加入者に限り鍼灸治療費の一部を補助。平成20年度より後期高齢者医療被保険者についても市の委託により本会で一部補助を開始しました。

■鍼・灸治療費の助成内容：一回につき500円、月5回まで

鍼灸延べ利用件数	保険種別	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	社会保険被保険者	850件	944件	870件
	後期高齢者医療被保険者	3,291件	3,119件	3,102件

(5) 認知症サポーター養成講座事業

① 認知症サポーター養成講座

■事業説明：平成25年度から宗像市より受託したこの講座は、誰もが認知症について正しい知識を持ち、認知症の人やその家族の「尊厳ある暮らし」を守り、認知症になっても安心して暮らせるまちの創造を目指しています。また平成26年度は、宗像市が開始した「福岡都市圏徘徊高齢者捜してメール」の「協力サポーター」の登録推進についても認知症サポーター養成講座開催時に毎回参加者に登録協力を呼びかけました。

■実施方法：本会職員が講師役「キャラバン・メイト」養成講座を受講し、学んだ知識や体験などを踏まえ、地域、学校、職場などで養成講座を開催しています。

■事業実績：

項目／年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
実施回数	—	13 回	34 回
受講者数	—	239 人	1,317 人

②認知症サポーターフォローアップ講座

■事業説明：「認知症サポーター養成講座」を修了した人が復習も兼ねて学習する機会を設け、より上級の講座など、地域や職域の実情に応じた取り組みを推進するため、今年度は「認知症サポーターフォローアップ講座」を開催しました。

■受講者数：24 人

実施時期	実施場所	内容
3 月 19 日	メイトム宗像 202 会議室	<input type="checkbox"/> 認知症のサインと対応 <input type="checkbox"/> グループワーク「認知症の方を地域で支えるために」 (講師：医療法人宗像病院 福岡県認知症医療センター 精神保健福祉士 矢山 隆行氏) <input type="checkbox"/> 今後のボランティア活動について

(6) 給食サービス事業

■事業説明：主に玄海地区で高齢者への「ふれあい型給食サービス事業」を実施しているボランティア団体へ助成を行っています。

助成額	団体名	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
	浜ゆうの会	133,510 円	144,000 円	144,780 円
	じょうもんさん会	66,490 円	56,000 円	55,220 円

6 障がい児者福祉事業の推進

(1) 車イス貸与事業

■事業説明：高齢者や障がいのある人などを対象に、一時的な車イスの貸出しを行っています。

延べ利用者数	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
	166 件	205 件	215 件

(2) 障がい児者福祉団体活動への支援

①宗像市あゆみの会活動への助成・支援

■内 容：宗像市あゆみの会へ活動費補助金の交付ならびに活動支援。

補助金交付額	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
	410,000 円	360,000 円	300,000 円

②宗像市身体障害者福祉協会活動への助成・支援

■内 容：宗像市身体障害者福祉協会へ活動費補助金の交付ならびに活動支援。

補助金交付額	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
	693,000 円	693,000 円	693,000 円

③あじさいの会活動への助成・支援

■内 容：障がい者とボランティアが協働で社会参加活動を行う「あじさいの会」へ活動費補助金の交付ならびに活動支援。

補助金交付額	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
	58,000 円	65,000 円	65,000 円

④宗像コスモス会への助成

■内 容：精神に障がいがある人とその家族で構成する福祉団体コスモスの会へ活動費補助金を交付。

補助金交付額	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
	400,000 円	400,000 円	400,000 円

⑥（障がい者）パソコンクラブへの支援

■内 容：障がい者で構成される社会参加型のパソコンクラブ。本会の福祉教育読本ともに生きる感想文集のデジタル化（パソコン入力）を毎年依頼している。

委託金交付額	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
	27,000 円	25,400 円	25,400 円

（3）障がい者等への情報配信事業

①手話講習会事業

■事業説明：コミュニケーション方法のひとつ「手話」を学び、「聴覚障がい」と聴覚障がいや難聴の人の理解促進を図る事業です。

■会 場：●火曜・土曜コース…メイトム宗像 ●金曜コース…玄海地区コミセン

■講習会日時：●火曜コース…19時から21時、金曜コース…13時30分から15時30分
●土曜コース…13時から15時

■運営委託：①手話サークル「シュワッチ」 ②玄海手話サークル「ゆび」

活動実績	平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度	
	回数	参加数	回数	参加数	回数	参加数
火曜	38 回	569 人	38 回	569 人	38 回	482 人
金曜	40 回	467 人	40 回	467 人	40 回	424 人
土曜	34 回	1,266 人	34 回	1,266 人	36 回	1,488 人
合計	112 回	2,302 人	112 回	2,302 人	114 回	2,394 人

②声の広報配布事業

■事業説明：視覚に障害がある市民へ、市や地域の情報を届けるため、毎月2回宗像市広報「むなかたタウンプレス」（1日・15日号）等を音訳、デジタル録音したCD-Rやカセットテープ等に録音し、配布する事業です。

■委託団体：日の里テープの会・日の里いずみの会・森林都市うぐいす

利用者数 (視覚障がい者)	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
	25 人	22 人	22 人

③要約筆記ボランティア事業

■事業説明：要約筆記活動を軸に、聴覚・言語・音声機能などの障がいのために意思疎通を図ることに支障がある人に対するボランティア活動です。過去、本会が実施した福祉ボランティア養成講座「要約筆記ボランティアコース」受講者を中心に、平成25年度ボランティア団体「暖歩（ダンボ）」を発会し、今年度も定期的な活動を実施しました。

■活動内容

実施日	場 所	主な活動内容
毎月1回開催 ※原則第2土曜10時から	メイトム宗像 203 会議室他	定例会及び学習会 ●パソコン要約筆記学習 ●手書きによる要約筆記学習 ●ノートテイク活動

（3）2014年第6回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム福岡への協力

■事業説明：知的障がいがある人の国際スポーツ大会（スペシャルオリンピックス）国内最終予選会が、宗像市を含む福岡県内数都市で開催され、本会も宗像市とともに協力しました。

■時期・会場：11月1～3日 ・グローバルアリーナ

■支援の内容：大会運営費として宗政福祉基金より100万円の補助金を交付しました。また本会バスの無料貸出や本会職員がボランティアスタッフとして大会運営に協力しました。

(4) おもちゃ図書館の運営

■事業説明：障がいのある人や子ども、高齢の人が「布のおもちゃ」等の療育遊具等で遊びながら療育を行うことができる施設です。おもちゃの貸し出しも実施しています。館の運営、布おもちゃの作成はボランティアに委託しています。さらに、市内小学校特別支援学校などに「出張おもちゃ図書館」や通信紙「たんぼぼ通信」も実施、発行しています。

■開館場所：メイトム宗像別館「居宅介護支援センター」1F

■開館日時：毎週木曜日 14：00～17：00・第2・4土曜日 14：00～16：00

■運営委託：宗像おもちゃライブラリー

活動実績	項目／年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
	制作点数	11 点	11 点	16 点
	貸出し件数	494 件	493 件	618 件
	延べ利用入館者数	566 人	437 人	446 人
	出張・臨時おもちゃ図書館	—	5 回	6 回

■出張・臨時おもちゃ図書館：おもちゃ図書館に来所することが困難な団体などに対し出張訪問などで対応する。

日程	訪問先	利用者数
8 月 9 日	世界一行きたい科学広場 in 宗像 (宗像ユリックス)	1,120 人
8 月 26 日	特別支援学級担当者研修会	53 人
11 月 26 日	河東小学校ひまわり学級交流会	28 人
12 月 10 日	自由ヶ丘小学校クリスマス会	60 人
平成 27 年 1 月 24 日	日の里西小、日の里東小合同交流会 (日の里東小学校)	23 人
平成 27 年 3 月 7 日	メイトム春まつり (メイトム宗像)	310 人
合計		6 回 1,594 人

(5) 車イス移送車貸出事業

■事業説明：高齢または障がいのある車イス利用者が、地域の行事などの社会参加や通院など、自由に外出できるよう車イス移送車を貸し出す事業です。

活動実績	項目／年度		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
	利用登録数	個人	22 人	16 人	20 人
		団体	1 団体	1 団体	1 団体
	貸出数	リフトカー	9 回	—	—
スロープカー		35 回	29 回	25 回	

※平成 25 年度よりスロープカーのみの貸し出し。

7 低所得者福祉事業の推進

(1) 生活福祉資金貸付事業 (福岡県社会福祉協議会委託事業) の推進

①生活福祉資金貸付・償還事務の適切な実施

■事業説明：生活福祉資金は、低所得者の経済的自立や生活意欲の助長を促進し、安定した生活を営めるようにするための資金貸付制度です。平成 21 年度には、世界的長期経済金融情勢の悪化に伴い、日本においても多くの非正規労働者などが雇用や住居を失う事態となったため、この制度が大きく改正され、失業者への再就職支援、生活や住居維持の総合的な支援ができる「総合支援資金」が新設されました。資金の種類としては、高校・大学などへの進学や高校卒業を支援する「教育支援資金」や生活保護受給までのつなぎとしての「緊急小口資金」などがあります。

貸付実績	項目／年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
	教育支援資金	11 件	17 件	19 件
	福祉費	3 件	3 件	9 件
	緊急小口資金	13 件	29 件	24 件
	臨時特例つなぎ資金	0 件	1 件	0 件
	総合支援資金	9 件	2 件	2 件
	合 計	36 件	52 件	54 件

②「社協・生活支援活動強化方針」ならびに「生活困窮者支援制度」による新たな支援事業実施のための調査研究ならびに実験事業の実施

■事業説明：平成 27 年度から施行される「生活困窮者自立支援法」にあわせて、社会福祉協議会が行っている「生活福祉資金貸付事業」との連携について、国から指針が示されたため、宗像市福祉課と正式に協議・検討し、平成 27 年 4 月 1 日以降の新規貸付業務について、連携して事務を進めることが決定しました。

(2) 歳末たすけあい募金の実施ならびに募金の配分

①歳末たすけあい募金配分委員会

■事業説明：集まった募金について、募金配分先や金額等を協議する会議。

実施日	場 所	主な内容
12 月 22 日	メイトム宗像 202 会議室	配分委員会において平成 26 年度募金実績額の報告及び平成 26 年度募金配分計画等について協議・決定を行いました。

②歳末たすけあい募金の実施ならびに募金の配分

■事業説明：歳末たすけあい募金の実施に関して宗像市民生委員児童委員協議会と協働して取り組んでいます。

■実施内容：民生委員・児童委員が商店や企業などを訪問して歳末募金を行い、福祉団体等や生活困窮者、各福祉会へ募金の配分を行いました。

■実施期間：11 月 1 日～12 月 31 日

活動実績	項目／年度		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
	募 金 実 績 額		2,273,484 円	2,311,195	2,462,567
	配 分 金 額	生活困窮者世帯 【 世帯数 】	80,000 円 【16 世帯】	45,000 円 【9 世帯】	60,000 円 【12 世帯】
		※福祉団体等	621,680 円	654,000 円	584,000 円
		地区福祉会	1,564,000 円	1,609,000 円	1,845,000 円
		共同募金へ繰入	7,804 円	3,195 円	783 円

※福祉団体等：子育てサロン・子育てサークル、福祉団体、ボランティアグループ

8 子育て子育ち・母子寡婦福祉支援事業の推進

(1) 子育て・子育ち支援事業の充実

①こねっと活動助成支援

■助成内容：子育て支援事業の重要性に鑑み、平成 26 年度より宗像子育てネットワークこねっと（現：NPO 法人 むなかた子育てネットワークこねっと）への活動費補助金の交付。

補助金交付額	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
	—	35,000 円	40,000 円

②子育てサロンや子育て支援団体活動への助成支援

■事業説明：歳末たすけあい募金の中から、配分を希望する子育てサロンや子育て支援団体へ活動資金の助成を行っている。

※（ ）内の数字は助成団体数

補助金額	交付団体	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
	子育てサロン	258,000 円 (9)	284,000 円 (10)	254,000 円 (9)
	子育て支援団体	178,680 円 (6)	140,000 円 (5)	150,000 円 (5)

③宗像市子育て関係機関連携会議への参加

■事業説明：宗像市が主催する子育て支援団体、児童関係機関の会議には、宗像市「子ども家庭課（子ども保健係、子ども家庭係）」「子ども育成課」「図書課」「コミュニティ・協働推進課」「男女共同参画推進課」「発達支援センター」「子育てネットワーク（こねっと）」「主任児童委員代表」「秘書政策課」と本会が主に参加しています。

■活動内容

事業名	実施時期	主な活動内容
第 1 回会議	5 月 15 日	場 所：宗像市役所 内 容：①新担当者紹介 ②各団体の年間スケジュールについて
第 2 回会議	9 月 17 日	場 所：宗像市役所 内 容：①各団体からの連携事業・中間報告 ②その他

(2) 地域福祉文庫連絡協議会活動助成支援

■事業説明：地域の子どもたちに本の楽しさ、面白さを知ってもらうために、地域福祉文庫の設置を行っています。現在では 4 文庫が活動を行っています。平成 18 年に、5 つの文庫による連絡協議会を設立しました。

■活動内容：各文庫間の情報交換、絵本の素晴らしさや絵本を通じた親子のふれあいの大切さなどを伝えるための活動を支援。また、各文庫活動の質の向上を図るため、会員の研修会の実施を支援しました。

実施事業	実施時期	主な活動内容
講演会	9 月 30 日	場 所：メイトム宗像 202 会議室 演 題：本と出会ってしあわせ 講 師：児童書専門店「こどもの広場」 代表 横山 眞佐子氏 内 容：読み聞かせの仕方や本の選定について

■助成内容：宗像市地域福祉文庫連絡協議会へ活動費補助金の交付ならびに活動支援。

補助金交付額	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
	286,000 円	286,000 円	235,000 円

(3) 宗像市母子寡婦福祉会活動助成支援

■事業説明：母子家庭の母親の就労支援や子育て支援、福祉の向上を図るため、宗像市母子寡婦福祉会活動への支援・協力を実施

■活動内容：宗像市母子寡婦福祉会へ活動補助金の交付ならびに役員会への参加、事業の活動支援等を行いました。

■活動支援の内容

実施時期	実施事業	主な活動内容
10 月 19 日	一日バスハイクへの支援	訪問先：スペースワールド 参加者：27 人 支援内容：事業に関する連絡調整や参加者の募集、事業の進行や安全管理等について協力を行いました。
2 月に 1 回程度	サロン活動支援	実施回数：4 回 のべ参加者：67 人 支援内容：会員親子の交流と新規会員確保のための川遊びやヨガ教室、クリスマス会等の実施に関する協力を行いました。

9 福祉教育の推進

(1) 福祉教育推進校（園）指定事業の実施

①福祉教育推進校（園）の指定

■事業説明：平成 18 年度から福祉教育推進計画に基づいた「福祉教育推進事業実施要綱」により、保育園・幼稚園・小学校・中学校・高等学校を対象に「推進校」を指定し、子どもへの福祉教育を推進・強化しています。

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
指定校（園）数	■福祉教育推進校 ①幼稚園（推薦園）2 園 ②保育園（推薦園）2 園 ③小学校 15 校 ④中学校 7 校 ⑤高 校 2 校 【計：28 校・園】	■福祉教育推進校 ①幼稚園（推薦園）2 園 ②保育園（推薦園）2 園 ③小学校 15 校 ④中学校 7 校 ⑤高 校 2 校 【計：28 校・園】	■福祉教育推進校 ①幼稚園（推薦園）2 園 ②保育園（推薦園）2 園 ③小学校 15 校 ④中学校 7 校 ⑤高 校 2 校 【計：28 校・園】

②福祉教育推進校（園）への福祉体験学習等の支援

■事業説明：福祉教育推進校（園）が実施する福祉体験学習等の実施を支援しています。

■実施校数：小学校 13 校+高校 2 校

■支援回数：80 回（日）+高校 7 日

対象者数	学校／学年	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	5 年生	6 年生	計
	小学校	46 人	96 人	468 人	694 人	402 人	115 人	1,821 人
中学校	0 人	0 人	0 人				0 人	
高 校	3 人	313 人	4 人				320 人	
							平成 26 年度 合計	2,141 人
							平成 25 年度 合計	1,896 人

■主な支援内容

学校名	対象者	主な活動内容
吉武小学校	4 年生 (16 人)	■実施日 ：9 月 29 日・10 月 3 日・8 日 ■主な協力者 ：視覚障がい者・ガイドボランティア「アイフレンド」、点訳ボランティア「てんとうむし」、保護者 ■主な内容 ：ガイド・アイマスク・点字体験、視覚障がい者との交流
赤間小学校	4 年生 (142 人)	■実施日 ：6 月 18 日、19 日、20 日、25 日、26 日 ■主な協力者 ：視覚障がい者、ガイドボランティア「アイフレンド」、点訳ボランティア「てんとうむし」、保護者 ■主な内容 ：ガイド・アイマスク体験、点字体験、視覚障がい者との交流
	5 年生 (147 人)	■実施日 ：6 月 3 日、4 日、10 日 ■主な協力者 ：車いす利用者、保護者 ■主な内容 ：車いす体験学習、車いす利用者との交流
自由ヶ丘小学校	5 年生 (77 人)	■実施日 ：2 月 6 日・2 月 13 日・25 日・3 月 5 日 ■主な協力者 ：自由ヶ丘地区福祉会役員と福祉委員・保護者 ■主な内容 ：自由ヶ丘地区の現状と高齢者の見守り活動についての講話・高齢者疑似体験・認知症サポーター養成研修
自由ヶ丘南 小学校	3 年生 (76 人)	■実施日 ：9 月 16 日、10 月 6 日 ■主な協力者 ：手話サークル「シュワッチ」・聴覚障がい者 ■主な内容 ：もこ体験（聞こえない世界についての学習）・「伝えること」についてのお話し・聴覚障がい者との交流・手話体験

	4年生 (65人)	<ul style="list-style-type: none"> ■実施日：9月10日、9月25日、10月1日・15日 ■主な協力者：点訳ボランティア「てんとうむし」・視覚障がい者 ■主な内容：アイマスク体験・点字体験・視覚障がい者との交流
赤間西小学校	3年生 (71人)	<ul style="list-style-type: none"> ■実施日：9月29日・10月7日・10月17日・12月10日 ■主な協力者：聴覚障がい者・手話サークル「シュワッチ」 ■主な内容：もこ体験(聞こえない世界についての学習)・聴覚障害者との交流・手話学習・なかよし集会/活動発表
	4年生 (75人)	<ul style="list-style-type: none"> ■実施日：9月10日・12日・18日・30日・10月7日・15日 ■主な協力者：点訳ボランティア「てんとうむし」・ガイドボランティア「アイフレンド」・音訳サポーター・視覚障がい者 ■主な内容：視覚障がい者との交流・アイマスク体験(保護者・教職員・児童)/基礎編・応用編・点字体験/基礎編・応用編・音訳体験
	6年生 (67人)	<ul style="list-style-type: none"> ■実施日：9月11日・17日・10月16日・30日・11月19日・12月18日・2月26日 ■主な協力者：赤間西地区福祉会役員・地区内小地域福祉会役員・保護者・地域の高齢者・市役所・警察・赤間西地区コミュニティ役員 ■主な内容：赤間西地区の現状・高齢化に関する講話・高齢者疑似体験・ふれあい地域調査活動・地域ボランティアについての講話・提言の会(赤間西10年後プラン)・感謝の会
東郷小学校	3年生 (87人)	<ul style="list-style-type: none"> ■実施日：10月10日・21日・24日 ■主な協力者：聴覚障がい者・手話サークル「シュワッチ」 ■主な内容：聴覚障がい者との交流・手話体験
	4年生 (80人)	<ul style="list-style-type: none"> ■実施日：10月9日・15日・22日 ■主な協力者：視覚障がい者・ガイドボランティア「アイフレンド」、点訳ボランティア「てんとうむし」 ■主な内容：アイマスク・ガイド体験(児童及び保護者)点訳体験、視覚障がい者との交流会
日の里西小学校	3年生 (52人)	<ul style="list-style-type: none"> ■実施日：9月25日、10月3日、11月4日・10日 ■主な協力者：聴覚障がい者・手話サークル「シュワッチ」 ■主な内容：聴覚障がい者との交流・手話体験、保護者へ発表
	4年生 (46人)	<ul style="list-style-type: none"> ■実施日：9月10日・17日・25日、11月5日・10日 ■主な協力者：視覚障がい者・ガイドボランティア「アイフレンド」、点訳ボランティア「てんとうむし」、音訳ボランティア ■主な内容：アイマスク・ガイド体験(児童及び保護者)、児童による保護者への体験、学習発表
	5年生 (75人)	<ul style="list-style-type: none"> ■実施日：7月3日・9日 ■主な協力者：車いす利用者 ■主な内容：車いす体験、車いす利用者との交流会
	6年生 (48人)	<ul style="list-style-type: none"> ■実施日：2月26日、3月2日 ■主な協力者：社協 ■主な内容：高齢者疑似体験、認知症サポーター養成講座
日の里東小学校	1年生 (46人)	<ul style="list-style-type: none"> ■実施日：2月16日 ■主な協力者：聴覚障がい者・手話サークル「シュワッチ」 ■主な内容：聴覚障がい者との交流・手話体験
	2年生 (52人)	<ul style="list-style-type: none"> ■実施日：2月16日 ■主な協力者：聴覚障がい者・手話サークル「シュワッチ」 ■主な内容：聴覚障がい者との交流・手話体験
	4年生 (59人)	<ul style="list-style-type: none"> ■実施日：9月26日、10月6日・10日 ■主な協力者：視覚障がい者・ガイドボランティア「アイフレンド」 ■主な内容：アイマスク・ガイド体験(保護者、児童)、視覚障がい者との交流会

河東小学校	3年生 (95人)	■実施日 ：1月30日、2月9日 ■主な協力者 ：聴覚障がい者・手話サークル「シュワッチ」 ■主な内容 ：聴覚障がい者との交流・手話体験等
	4年生 (104人)	■実施日 ：9月24日、10月8日 ■主な協力者 ：視覚障がい者・点訳ボランティア「てんとうむし」 ■主な内容 ：点訳体験、視覚障がい者との交流会
河東西小学校	5年生 (103人)	■実施日 ：6月11日、6月18日 ■主な協力者 ：車いす利用者 ■主な内容 ：車いす体験、車いす利用者との交流会
	4年生 (89人)	■実施日 ：9月22日・10月2日・14日 ■主な協力者 ：視覚障がい者・ガイドボランティア「アイフレンド」 ■主な内容 ：アイマスク・ガイド体験（保護者、児童）、視覚障がい者との交流会
南郷小学校	2年生 (44人)	■実施日 ：2月13日 ■主な協力者 ：聴覚障がい者、手話サークル「シュワッチ」 ■主な内容 ：手話体験および聴覚障がい者との交流
玄海小学校	4年生 (18人)	■実施日 ：10月31日、11月6日・17日・27日、12月18日 ■主な協力者 ：視覚障がい者・朗読ボランティア「ふれあい玄海」・点訳ボランティア「ねむの会」・聴覚障がい者・手話サークル「ゆび」・保護者・地域の高齢者・神湊地区福祉会 ■主な内容 ：アイマスク・ガイド体験、点訳体験、視覚障がい者との交流、手話体験、聴覚障がい者との交流、神湊地区福祉会ふれあいクリスマス会で高齢者との交流会
東海大学 第五高等学校	1～3年生 (11人)	高校生ボランティアスクールのページを参照
宗像高等学校	2年生 (309人)	高校生ボランティアスクールのページを参照

③福祉教育推進校連絡会の実施

■事業説明：「福祉教育推進事業実施要綱」により指定を受けた保育園・幼稚園・小学校・中学校・高等学校による福祉教育推進校（園）の連絡会を2回開催しました。

実施事業	実施日時	主な内容
第1回連絡会	■7月2日 ■メイトム宗像 202会議室	①福祉体験学習のご案内 ➡福祉教育の申込等について ②宗像市福祉教育セミナーの開催案内 ③福祉教育読本「ともに生きる」の活用依頼 ④福祉絵画コンクールの協力依頼 ⑤ジュニアボランティアスクール開催案内 ⑥その他：認知症サポーター養成講座の案内、「ともに生きる」配布、他
第2回連絡会	■2月18日 ■メイトム宗像 202会議室	①福祉教育推進事業に係る報告書類の事務手続きについて ②福祉絵画コンクールおよび福祉教育読本「ともに生きる」感想文の作品集『ともだち』と参加賞の配布 ③学校での福祉学習 事例報告「赤間小学校6年生の取組み」 ➡講師：溝部先生、鶴林先生

④福祉教育読本「ともに生きる」の配布と活用の推進

- 事業説明：市内の小学5年生を対象に福祉読本「ともに生きる」を配布し、読后感想文を募集して、優秀な感想文には表彰を行っている。優秀な作品は「市民活動交流館まつり」当日メインステージで表彰を行い、作品集「ともだち」を作成し、本会ホームページにて公開しています。
- 活動内容：市民活動交流館まつり(メイトム春まつり)会場にて入賞作品を展示するとともに表彰式を開催し、記念品および参加賞を贈呈しました。
- 配布対象：市内全小学校 5年生
- 配布冊数：890冊
- 応募数：87作品(29クラス)
- 表彰日：3月7日「市民活動交流館まつり(メイトム春まつり)」

⑤福祉絵画コンクールの開催

- 事業説明：福祉教育推進校(園)等の子どもたちやその保護者に、福祉への関心を高めてもらうため「思いやり・優しさ」をテーマに絵画コンクールを実施。
- 活動内容：市民活動交流館まつり会場にて入賞作品を展示するとともに表彰式を開催し、記念品および参加賞を贈呈しました。
- 応募対象：市内全保育園・幼稚園・小学校・中学校・高等学校の児童生徒
- 表彰期日：3月7日「市民活動交流館まつり(メイトム春まつり)」

参加作品総数	平成24年度	平成25年度	平成26年度
		694点	317作品

(2) 地域福祉推進事業所職員研修(ルックルック講座)協力事業

- 事業説明：地域の事業所が行う職員研修に「ノーマライゼーション」や「ボランティア」「地域福祉」「認知症」「見えにくい障がい」等の要素を付加した研修を行う場合に、福祉教育の観点から「地域福祉推進事業所」として研修を支援しています。

実施事業	実施日時	主な内容
宗像市初任層職務支援研修	1月29日	<ul style="list-style-type: none"> ■研修内容 <ul style="list-style-type: none"> ・身体、知的、精神、発達障がいなどに関する知識や、障害模擬体験、窓口対応等の具体的コミュニケーション方法等について。 ・ノーマライゼーションやソーシャルインクルージョンの理念に基づいた福祉事業について。 参加者：宗像市役所入庁4年目の職員12人 場 所：宗像市役所202会議室
宗像薬剤師会	9月10日	<ul style="list-style-type: none"> ■内容は「認知症サポーター養成講座」。宗像市・福津市両市の薬局等の職員が認知症サポーターとなり、認知症サポーターが在職していることを証明するステッカーを参加事業所に配布した。 ■参加者：薬局等の職員 計79人(39事業所) ■場 所：メイトム宗像202会議室
高齢者福祉施設シャングリラ	2月6日	<ul style="list-style-type: none"> ■内容は「認知症サポーター養成講座」。市内高齢者施設の職員研修として実施された。 ■参加者：職員 計12人 ■場 所：高齢者福祉施設シャングリラ

(3) 第10回宗像市福祉教育セミナーの開催

- 事業説明：福祉教育推進校(園)の先生や地域福祉の推進に関わる人に福祉教育への理解と、地域福祉への参画を推進するため、平成17年から標記セミナーを開催し、今年度が10回目となるため特別に記念事業として実施しました。

■事業内容：『福祉教育が心のバリアフリーを推進“夢大使と瑞宝太鼓公演”』をテーマに、福祉教育推進校（園）の先生や地域の民生委員や福祉関係者、ボランティアが、当事者（夢大使）による講演会や瑞宝太鼓による太鼓演奏を聴きなから知的障がいがある人々の社会参加や思いについて学習しました。

■実施期日：8月7日(木) 13:30～15:30

■実施場所：宗像ユリックス・ハーモニーホール

■実施内容：

項目	主な内容
講演	瑞宝太鼓「夢大使」による講演「みんなと障害をのり越えて」
公演	瑞宝太鼓公演
その他	セミナー終了後、瑞宝太鼓や市内の福祉施設等による生産品等の販売（バザー）を実施

■参加者数：

参加者数	平成24年度	平成25年度	平成26年度
		190人	187人

（4）社会福祉援助技術現場実習生の受け入れ

■事業説明：将来、社会福祉の専門職もしくは専門資格を取得することを目的として社会福祉の現場（本会）で実習を希望する者の受け入れを福祉教育の一環として行っています。

実習生 受入実績	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	■福岡教育大学 5人 期間：6月1日～7月20日（実質12日間） ■西南学院大学 1人 期間：8月8日～9月28日（実質24日間） ■筑紫女学園大学 3人 期間：8月8日～9月28日（実質24日間） ■県立大学大学院 1人 期間：8月8日～9月28日（実質24日間）	■福岡教育大学 2人 期間：7月3日～7月19日（実質12日間） ■西南学院大学 1人 期間：8月9日～9月25日（実質24日間） ■西南女学院大学 2人 期間：8月9日～9月25日（実質24日間）	■福岡教育大学 4人 期間：10月3日～10月20日（実質12日間） ■西南学院大学 2人 期間：8月18日～9月19日（実質24日間） ■福岡県立大学 1人 期間：8月18日～8月22日（実質5日間）

（5）ワクワク WORK の受け入れ

■事業説明：福祉教育の一環として、市で取り組む「ワクワク WORK」の受け入れを行い、社会福祉協議会の活動やボランティア活動、「赤い羽根共同募金運動」などについて学ぶ機会とし、最終日に学んだことを報告する報告会を実施しました。

■期 間：9月8日（月）～12日（金）の5日間

■内 容：総務・福祉係に2人、のぞみ園に2人 計4人

10 活動財源の確保

（1）チャリティーボウリング大会

■事業説明：健康づくりとチャリティーを目的としたボウリング大会。市内外の地域福祉推進事業所と市民によって支えられています。

■期 日：2月27日（金）

■会 場：宗像シティボウル（王丸）

■協賛等：市内外の多くの事業所に賞品や資金の提供や宣伝活動、参加協力等を受けている。

事業実績	項目／年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	参加者	124人	125人	128人
	益金額	272,527円	269,114円	308,568円

(2) 社会福祉援助技術現場実習生の受け入れ

■事業説明：本会が社会福祉援助技術現場実習生の受け入れを行う場合、「受入協力費」として一人一日 1,000 円を徴収しています。

事業実績	項目／年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
	実習期間 24 日	5 人 (120,000 円)	4 人 (96,000 円)	2 人 (48,000 円)
	実習期間 12 日	5 人 (60,000 円)	2 人 (24,000 円)	4 人 (48,000 円)
	実習期間 5 日			1 人 (5,000 円)
	合 計	180,000 円	120,000 円	101,000 円

(3) 共同募金・宗像市社協自動販売機の設置

■事業説明：自動販売機で飲料水等を買うと本会等に寄付が行われる「寄付つき商品型自動販売機」の設置を推進しています。

■設置状況：設置場所 計 12 か所 設置台数 計 15 台

設置台数と実績額	項目／年度		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
	合 計	台 数	9 台	4 台	2 台
		※金額	53,698 円	484,052 円	428,118 円
		差 異	—	430,354 円	−55,934 円

※金額には、共同募金配分金は含みません。また自販機電気代支払後の額です。

(4) 香典返し・一般寄付等の高額寄付者への感謝状の贈呈と初盆参りの実施【新】

■事業説明：香典返しの寄付や一般の寄付などの受け入れを行っています。また今年度から本格的に 30,000 円以上の寄付者に感謝状を贈呈し、50000 円以上の場合は、初盆参りを実施しました。

事業実績	項目／年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
	感謝状贈呈数	—	41 件	38 件
	香典返寄付金	158 件 (3,871,000 円)	114 件 (2,745,000 円)	134 件 (3,057,994 円)
	一般寄付金	13 件 (388,252 円)	10 件 (688,247 円)	11 件 (459,778 円)
	計	171 件 (4,259,252 円)	124 件 (3,433,247 円)	145 件 (3,517,772 円)

(5) ファンドレイジング（資金調達）に関する調査研究ならびに実験事業の実施【新】

① ファンドレイジング（資金調達）に関する研修の実施

■事業説明：「2 法人運営に関する事業③理事研修会の開催」に同じ。

② 福祉機器貸出の有料化

■貸与品：車イス（自走式・介助式）

■対象者：高齢者や傷病者の介護など一時的に必要な人に貸出を行っています。

■料金等：運営協力費として 1 回 500 円

■期 間：1～30 日間（原則として 1 回 1 ヶ月以内ですが、更新 2 回まで可）

■事業説明：高齢者や障がいのある人などを対象に、一時的な車イスの貸出しを行っています。

事業実績	項目／年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
	延べ利用件数	166 件	205 件	215 件
	運営協力費	83,000 円	102,500 円	107,500 円

③ イオングループ黄色いレシート活動への参加

■内 容：イオングループ黄色いレシート活動に参加し、イオンモール福津の買い物客が黄色いレシートで投票した金額の 1%相当額の現物寄附を受けました。

年 度		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
寄附の内容	総計額	623,590 円	1,625,674 円	1,441,153 円
	寄付金額	6,200 円	16,300 円	14,500 円

※寄付金額相当の物品寄付

11 ボランティア活動・市民活動の促進

(1) ボランティアセンター事業の適切な運営

① ボランティア登録事業の促進および V-net の効果的運営

ボランティア登録事業実績		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
ボランティア登録	提供個人	36 件	35 件	31 件
	提供団体	3 件	4 件	3 件
	依頼個人	1 件	2 件	2 件
	依頼団体	12 件	10 件	12 件
	依頼申込個人	55 件	46 件	47 件
	依頼申込団体	48 件	36 件	43 件
ボランティア活動状況	件数	467 件	440 件	365 件
	活動人数	2,534 人	2,373 人	1,966 人
	調整数	459 件	379 件	465 件
HP アクセス数	アクセス件数	1,419 件	2,213 件	2,840 件
センター利用状況	窓口	1,968 件	2,102 件	2,228 件
	電話	1,133 件	1,276 件	1,178 件
	合計	3,101 件	3,378 件	3,406 件
	対前年比		108.9%	100.8%

■ ボランティア活動分野別登録状況

	福祉	保健医療	環境	観光	国際交流	まちづくり	子ども	学習	合計
個人 (人)	443 43.5%	59 5.8%	85 8.3%	83 8.1%	58 5.7%	66 6.5%	152 14.9%	73 7.2%	1,019
団体 (団体)	65 51.6%	5 4.0%	14 11.1%	4 3.2%	3 2.4%	9 7.1%	12 9.5%	14 11.1%	126

※ボランティア活動分野別登録状況は、V-net 開設時（平成 14 年 3 月）からの累計。

② 宗像市市民活動交流館の企画運営への協力

■ 事業説明：NPO、ボランティア団体の活動を支援および協働し、市民活動交流館の運営などについて協議や検討を行いました。

■ 事業内容：市民活動交流館企画運営委員会への参加。市民活動交流まつり実行委員として交流まつりの実施。実行委員会参加団体の情報交換、第 6 回交流まつりでは企画運営委員会メンバーおよびステージとブース部会の一員としての役割を担いました。

実施事業	実施時期	主な活動内容
企画運営委員会	■ 毎月第 4 火曜日 ■ メイトム宗像	※17:30 開始
市民活動交流まつり実行委員会	■ 10 月～3 月 ■ メイトム宗像	※19:00～ 不定期に 3 回実施
市民活動交流まつりステージ及びブース部会	■ 10 月～3 月 ■ メイトム宗像	※不定期に 5 回実施

(2) ボランティア講座の開催

① ボランティア入門講座

- 事業説明：ボランティア活動を始めたい人、始めて間もない人、ボランティア活動および、この講座に関心のある人を対象に開催しています。
- 事業内容：ボランティア活動についての基本学習と体験学習を実施しました。基本学習では、ボランティアを始めるにあたっての基礎知識を学びました。また、4つのグループに分かれ、読後新聞紙を再利用した「ペーパーフラワーコサージュ」作成し、読後色新聞紙を再利用したペーパーフラワー制作が、ゴミ減量のボランティア活動につながる事や、コミュニケーションツールのひとつとして、今後の活動にも役立つ事を学んでもらいました。また、募集中のボランティア活動を紹介し、実活動につながる情報を提供しました。
- 実施期日：11月6日（木）
- 実施場所：メイトム宗像 202 会議室
- 講師：基本学習・福岡県社会福祉協議会 地域課 高場宣行氏
体験学習・5R フレンズ 代表 矢部保代氏 他

参加者数	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
		31 人	22 人

② ジュニアボランティアスクール

- 事業説明：福祉教育推進計画に基づき、小学生 4～6 年、中学生 1 年を対象に、福祉教育拡大・発展型のボランティア体験学習を実施しています。
- 実施期日：8月20・21・22日（合計3日間）
- 実施場所：市民活動交流館「メイトム宗像」、JOY 倶楽部（福岡市）、油山市民の森（福岡市）
- 事業内容：今回は、「見えづらい障がい」と「高齢者」、「自然環境」について理解する学習に取り組みました。疑似体験、認知症に関する学習、障がいのある人々が働く施設の見学やその人々との交流および共同学習を通じ、誰もが安心して暮らす社会になるために、自分に何ができるかを考えました。修了後、参加者全員「こども福祉員（通称：ピッコラ）」に任命され、ユニバーサル視点で、全ての人が暮らしやすい「まち」にするために何が必要で、何ができるか、どう行動すべきかを考え、①小さなことでも実行する②その人の立場で考える③「自分」も「人」も大事にする、以上3つの心構えを導き出しました。

実施時期	内 容
■8月20日 ■メイトム宗像 健診室	<input type="checkbox"/> 高齢者になってみよう（高齢者疑似体験） <input type="checkbox"/> なんだろう、認知症って…（認知症サポーター養成講座） <input type="checkbox"/> 見えづらい障がいについて
■8月21日 ■福岡市	<input type="checkbox"/> フィールドワークⅠ 障がいのある人の仕事場を見学しよう～JOY 倶楽部アトリエブラヴォ～ ●仕事の紹介、説明 ●作業見学、アトリエブラヴォメンバーと交流 <input type="checkbox"/> フィールドワークⅡ 油山市民の森自然観察センターにて環境学習 ●森林の植物や昆虫、水中生物を観察する ●植物でしおり作り
■8月22日 ■メイトム宗像 健診室	<input type="checkbox"/> ワークショップ～JOY 倶楽部アトリエブラヴォのみなさんと交流学習～ ●エコバック作り <input type="checkbox"/> みんなに伝えよう！～ジュニボラプレスづくり～ ●個人・班ワーク ●壁新聞作成、発表

参加者数	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
		22 人	20 人

③高校生ボランティアスクール

■事業説明：福祉教育推進計画に基づいた「福祉教育推進事業実施要綱」により、市内にある2高等学校を「推進校」を指定し、福祉教育を推進・強化しています。各高校の生徒、教諭を対象にしたボランティアスクールで、今できるボランティア活動、また将来経験を重ねて取り組む場合に予備知識となるような学習を実施しました。

■事業内容：

- ・今年度もノーマライゼーションの理念に基づく「共生」をテーマに、地域社会の課題を「自分たちの問題」としてとらえる学習内容に力を入れました。
- ・宗像高等学校では、教育課程「家庭基礎」の単元で「高齢者」について学んだ2年生を対象として、5日間に渡り、認知症に対する理解を深める学習に取り組みました。
- ・東海大学第五高等学校では、1日目にボランティアの基本学習や認知症サポーター養成講座、従前のボランティア活動に活かせる「コミュニケーションツール」と日本の伝統遊び「折紙」を学びました。2日目は、防災や介護講習を受講しました。

参加者数	項目／年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	東海大学第五高等学校	18人	19人	11人
	宗像高等学校	27人	22人	309人

【東海大学第五高等学校】

実施時期	実施場所	内容
7月24日	■東海大学第五高等学校	<input type="checkbox"/> ボランティア基礎学習 <input type="checkbox"/> 認知症について学ぼう（認知症サポーター養成講座） <input type="checkbox"/> 折紙に挑戦しよう （講師：日本折紙協会宗像支部 樋口富砂子氏）
7月25日	■東海大学第五高等学校 ■福岡市地域介護実習・普及センター	<input type="checkbox"/> 地域防災学習 （講師：福岡県社会福祉協議会 地域課 高場宣行氏） <input type="checkbox"/> 高齢者について学ぼう <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者介護機器について学ぼう <input checked="" type="checkbox"/> 車いす介助を学ぼう

【宗像高等学校】

実施時期	実施場所	内容
7月3・4・7・8・9日	宗像高等学校	<input type="checkbox"/> 高齢者理解の学習 <input checked="" type="checkbox"/> 認知症について学ぼう（認知症サポーター養成講座）

④福祉ボランティア養成講座

■事業説明：ボランティア活動を始めたい、またはすでに活動しているが、他のボランティア活動も興味がある市内在住者などを対象に開催しました。

■事業内容：今年度は、初日にボランティア活動の基本や認知症サポーター養成講座を実施しました。さらに要望の高かった傾聴に関する学習も取り入れ、対人援助ボランティア活動に必要な「受援者が必要としている」心構えを培いました。自分に合った、そして自分にできるボランティア活動を見出し、人々が共にいきいきと暮らすためにボランティア活動が大きな役割を担っていることを学ぶ機会としました。今回は、前半に傾聴の心構え、ボランティア活動に関する基本や認知症サポーターに必要な知識を学びました。後半は、特に高齢者や障がい者の日常生活支援につながるボランティア活動「傾聴ボランティア」と「癒し（美容）ボランティア」コースを設け、相手の心に寄り添い、複雑多様化している新しい福祉課題を解決していくボランティア活動ができるようになることを目指しました。

■実施期日：2月23・26日、3月2・5・9日（合計5日間）

実施時期	実施場所	内容
2月23日	メイトム宗像 202会議室	<input type="checkbox"/> 聴き上手になる～傾聴のところがまえ～ （講師：NPO法人 日本ソーシャルコーチ協会 代表理事 富岡郁雄氏）

2月26日	メイトム宗像 202 会議室	<input type="checkbox"/> ボランティア活動の現状について <input type="checkbox"/> ダイヤモンドランキングに挑戦 <input type="checkbox"/> 認知症サポーター養成講座
3月2日	メイトム宗像 202 会議室	<input type="checkbox"/> 傾聴コース① <input checked="" type="checkbox"/> 心に寄り添う傾聴ボランティア (講師：NPO 法人 日本ソーシャルコーチ協会 代表理事 富岡郁雄氏)
	メイトム宗像 201 会議室	<input type="checkbox"/> 癒し (美容) コース① <input checked="" type="checkbox"/> リラックスケア I ～セラピューティック・ケアの基本～ (講師：アロマクラブ 代表 門司早苗氏)
3月3～6日	メイトム宗像 202 会議室	<input type="checkbox"/> 傾聴コース② <input checked="" type="checkbox"/> 傾聴ボランティアの実践 (実習先：デイサービスけやき通り宗像、宗像コスモス会ひだまり、城ヶ谷福祉会)
3月5日	メイトム宗像 203 会議室	<input type="checkbox"/> 癒し (美容) コース① <input checked="" type="checkbox"/> リラックスケア II ～セラピューティック・ケアの応用とアロマオイルを使ったハンドマッサージ～ (講師：アロマクラブ 代表 門司早苗氏)
3月9日	メイトム宗像 102 会議室	<input type="checkbox"/> 傾聴コース③ <input checked="" type="checkbox"/> 実践を振り返って ・傾聴ボランティア活動で一番大切にしたいこと <input checked="" type="checkbox"/> 幸せ度チェック (講師：NPO 法人 日本ソーシャルコーチ協会 代表理事 富岡郁雄氏)
	メイトム宗像 103 会議室	<input type="checkbox"/> 癒し (美容) コース③ <input checked="" type="checkbox"/> ビューティーケア (メイク) (講師：HAIR MAKE Hana ディレクター&スタイリスト Hana 氏)

■参加者数：

参加者数	平成 24 年度		平成 25 年度	平成 26 年度	
	1 日コース	10 人	27 人	傾聴	15 人
	3 日コース	19 人		癒し (美容)	10 人

(3) ボランティア活動との連携・支援強化

①福祉ボランティア活動連絡協議会の育成・補助

■事業説明：福祉ボランティア活動連絡協議会の役員会・運営委員会への参加・助言。自主研究会、総会などへの助言・指導。各ボランティアグループへの個別指導・助言。福祉教育現場での参加支援。行政や各施設で行われるイベントへの参加支援。

■活動支援の内容

実施事業	実施時期	主な活動内容
役員会	毎月 1 回開催	※毎月最終週のいずれか平日：午後 7 時 30 分～
運営委員会	毎月 1 回開催	※毎月第 1 水曜：午後 7 時 30 分～
定期総会	4 月 26 日	場 所：メイトム宗像
全体研修	9 月 19・28 日	場 所：メイトム宗像 テーマ：認知症について (認知症サポーター養成講座) 講 師：宗像市社会福祉協議会職員
役員研修	10 月 15 日	場 所：クローバープラザ テーマ：認知症を考えるつどい 講 師：大牟田市認知症ケア研究会 代表 大谷るみ子氏 直方市認知症サポーターを広める会 野口邦生氏

■宗像市福祉ボランティア活動連絡協議会へ活動費補助金の交付ならびに活動支援。

補助金交付額	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
	553,000 円	435,000 円	510,000 円

②ふくおか「きずな」フェスティバルへの参加・協力

■事業説明：県内で開催されるボランティア等のフェスティバル。現在は、「ふくおかボランティアのつどい」と「ふくおか子どもすくすくフェスタ」を統合して開催されています。

■事業内容：ふくおか「きずな」フェスティバルに参加。

□講演：新しいふれあい社会の創造 ～ボランティアのこれから～

講師：さわやか福祉財団 会長・弁護士 堀田 力氏

□ボランティア活動別分科会

■実施期日：2月15日

■実施場所：クローバープラザ（春日市）

■参加者数：福祉ボランティア活動連絡協議会員 24 人

③ボランティア活動振興基金積立事業

■事業説明：福祉ボランティア活動振興基金の基金果実を福祉ボランティア活動連絡協議会に助成しました。

実績額	項目／年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
	基金果実	24,103 円	2,810 円	2,810 円
	助成金額	10,000 円	10,000 円	10,000 円

④ボランティア保険加入補助

■事業説明：V-net に登録している個人及び団体ボランティアや福祉会のボランティアなどがボランティア活動保険に加入した際に、その保険料一人 150 円を補助しています。なお本会は 50 円、100 円は県社協が補助しています。

合計補助金額	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
	196,000 円	182,000 円	175,000 円

12 赤い羽根共同募金運動への協力

(1) 共同募金への協力

■組織体制

福岡県共同募金会の支部組織「福岡県共同募金会宗像市支会」として、理事会を開催、当該年度の募金目標額や募金活動について審議、決定しています。理事は、地区自治会長会代表 13 人、民生委員・児童委員協議会会長 1 人、商工会より 1 人、老人クラブ連合会会長 1 人、市執行部（健康福祉部長）1 人、識見を有する者 1 人（社会福祉協議会会長）により構成されています。

■福岡県共同募金会宗像市支会

「福岡県共同募金会宗像市支会」（事務局：社会福祉協議会）として募金活動を行っています。

■募金方法と募金実績額

毎年 10 月 1 日～12 月 31 日までの間で募金活動を行っています。募金方法と募金実績額は下記の表をご参照ください。

年度実績		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
項目	■戸別募金	11,626,368 円	11,306,911 円	10,984,939 円
	■街頭募金	150,362 円	163,902 円	157,093 円
	■学校募金	196,503 円	185,149 円	125,336 円
	■職域募金及び資材を活用した募金	676,279 円	688,525 円	680,006 円
	■イベント募金	98,036 円	130,360 円	98,058 円
	■個人募金、その他	28,549 円	151,968 円	174,880 円
	実績額合計	12,776,097 円	12,626,815 円	12,220,312 円
対前年比		98.8%	96.8%	

■配分実績

平成 26 年度募金実績額に対する福岡県共同募金会から宗像市への配分先と配分金額は次のとおりです。

	配分先	配分金額
■地域配分 (A'枠)	給食サービス事業運営費:ボランティア団体による配食	200,000
	共同作業所運営費:NPO 法人宗像コスモス会	400,000
■地域配分 (B 枠) 福岡県共同募金会から宗像市社会福祉協議会に、申請に基づいて配分されます。本会の理事会・評議員会で承認された地域福祉活動を行う事業費です。	高齢者福祉に	1,176,000
	児童・青少年福祉に	1,185,000
	障がい児・者福祉に	2,179,000
	子育て支援活動に	570,000
	ボランティア活動に	524,000
	福祉会活動の支援に	2,864,000
	情報提供・啓発活動に	939,200

(2) 歳末たすけあい募金の実施ならびに募金の配分

※7 低所得者福祉事業の推進 (2) 歳末たすけあい募金の実施ならびに募金の配分を参照。

13 障害者生活支援センター運営事業

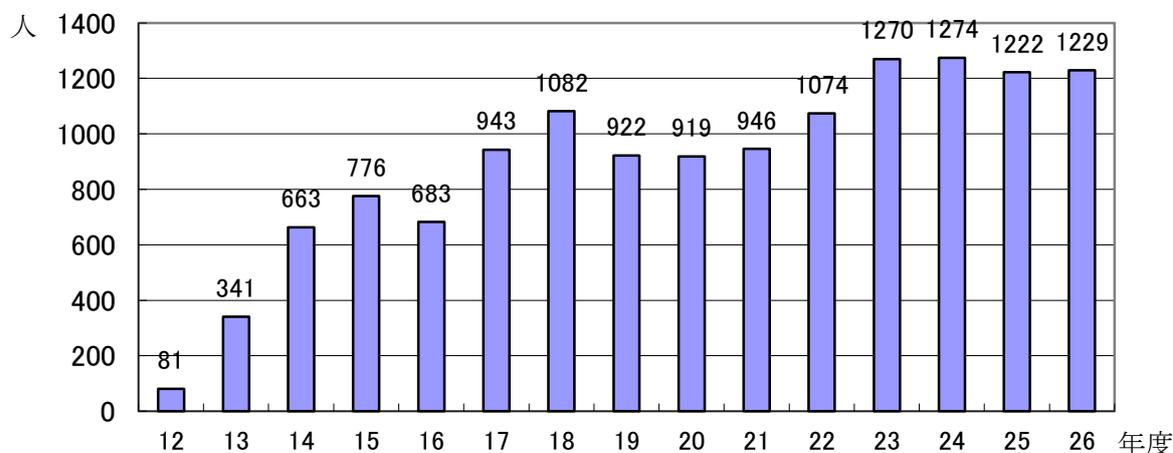
■宗像市委託事業

(1) 障害者生活支援センター事業

■事業説明：障害者生活支援事業は、宗像市に居住する障がい者に対し、保健福祉サービスの利用促進、および各種情報の提供、相談・助言等を総合的に行うことにより、障がい者及びその家族の地域における生活を支援し、障がい者の自立と社会参加の促進を図ることを目的とする。

- 事業内容：○福祉サービスの利用援助
 ○社会資源を活用するための支援
 ○社会生活力を高めるための支援
 ○当事者相談(ピアカウンセリング)
 ○専門機関の紹介・連携
 ○サービス利用計画の作成及び評価
 ○権利擁護のための必要な援助

■センター利用状況・相談件数：1229 人



- 職員体制：○センター長 1 人
 ○相談員 3 人
 ○ピアカウンセラー 3 人

■開所日時：①月・火・水・木・金曜日（8時30分～17時）

※土・日曜日・国民の祝日・年末年始は定休日

②ピアカウンセリング（10時～15時）

■相談実績①（区分別）

項目／月	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
①ホームヘルプサービス	748 件	553 件	388 件
②ガイドヘルプサービス	219 件	102 件	139 件
③地域活動支援センター・デイサービス	85 件	97 件	109 件
④ショートステイ	116 件	149 件	99 件
⑤ケアホーム・グループホーム等	131 件	147 件	144 件
⑥入所施設利用の援助	157 件	143 件	141 件
⑦通所施設利用の援助	582 件	453 件	575 件
⑧福祉機器の利用援助	303 件	133 件	126 件
⑨食事・調理に関すること	33 件	26 件	22 件
⑩サービス利用計画作成および介護相談	204 件	959 件	1,093 件
⑪権利擁護・生活安定面の支援	556 件	333 件	370 件
⑫申請代行その他保健・福祉・医療に関する支援	829 件	571 件	447 件
⑬情報機器等の利用援助	34 件	5 件	15 件
⑭コミュニケーションの支援	203 件	84 件	61 件
⑮移動・外出の支援	216 件	209 件	200 件
⑯住宅の紹介、改修の支援	128 件	78 件	77 件
⑰生活情報の提供	83 件	101 件	232 件
⑱障害者団体の紹介	9 件	17 件	17 件
⑲ボランティア NPO 等の紹介	51 件	33 件	9 件
⑳就労・就学に関する支援	524 件	495 件	472 件
㉑福祉資源形成の支援	51 件	39 件	30 件
㉒金銭管理の支援	107 件	129 件	185 件
㉓健康管理の支援	508 件	460 件	718 件
㉔講座・教室、余暇・趣味の紹介	117 件	91 件	75 件
㉕ピアサポートに関すること	97 件	102 件	94 件
㉖専門機関の紹介	314 件	216 件	171 件
㉗その他の必要な生活支援	1,496 件	1,233 件	1,291 件
計	7,901 件	6,958 件	7,300 件

■相談実績②（相談方法別）

項目／月	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
①来 所	2,114 件	846 件	677 件
②電 話	3,826 件	1,123 件	1,167 件
③文書（メール等）	245 件	118 件	82 件
④訪 問	1,716 件	1,083 件	767 件
⑤同 行	—	57 件	79 件
⑥個別支援会議	—	972 件	1,786 件
⑦関係機関	—	2,759 件	2,742 件
計	7,901 件	6,958 件	7,300 件

■障がい種別①（障がい者）

項目／月	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
①肢体不自由	1,501 件	1,145 件	952 件
②聴覚障害	252 件	161 件	131 件
③言語障害	3 件	4 件	3 件
④視覚障害	598 件	299 件	306 件
⑤内部障害	28 件	19 件	15 件
⑥発達障害	79 件	215 件	324 件
⑦高次脳機能障害	158 件	195 件	72 件
⑧知的障害	1,796 件	1,569 件	1,668 件
⑨精神障害	1,731 件	1,955 件	2,073 件
⑩重複障害	1,517 件	810 件	1,122 件
⑪不 明	177 件	111 件	160 件
⑫な し	61 件	56 件	33 件
計	※障害児含む 7,901 件	6,539 件	6,859 件

■障がい種別②（障がい児）

項目／月	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
①肢体不自由	—	130 件	193 件
②聴覚障害	—	0 件	0 件
③言語障害	—	0 件	0 件
④視覚障害	—	0 件	0 件
⑤内部障害	—	0 件	0 件
⑥発達障害	—	26 件	36 件
⑦高次脳機能障害	—	38 件	3 件
⑧知的障害	—	62 件	161 件
⑨精神障害	—	0 件	0 件
⑩重複障害	—	153 件	39 件
⑪不 明	—	3 件	4 件
⑫な し	—	7 件	5 件
計	—	419 件	441 件

(2) 障害者生活支援センター主催事業

①ピアサポート事業

■事業説明：ピアサポーターと利用者が事業を通じた交流により情報を共有し、当事者間のネットワークを構築することを目的としてピアサポート事業を実施。

■参加費：無料（実費負担あり）

■実施内容

回数	実施月	内容	参加人数	場所
第 1 回	6 月	明太子作り体験	11 人	千曲屋（福岡市）
第 2 回	10 月	風船バレー	13 人	勤労者体育センター（宗像市）
第 3 回	2 月	買い物と食事	20 人	ダイソー、ジョイフル（宗像市）

②ピアサポーターだより「すまいる」発行事業

■事業説明：ピアサポーターの活動および障害者福祉制度やサービス、ボランティア等の情報を当事者や市民、関係機関等に周知し、情報を共有することを目的に広報紙を発行。

■発行回数：年 3 回

■発行部数：530 部

■配布先：各福祉施設、福祉会、当事者団体、関係機関等

■実施内容：事業紹介、生活情報、ボランティア紹介、バリアフリー情報など

③パソコン勉強会

- 事業説明：当センターのピアサポーターが講師となり、在宅障がい者などを対象にパソコンの勉強会を実施。
- 開催日時：第2・4火曜日（13:00～15:00）
- 開催場所：宗像市役所内
- 参加費：無料
- のべ参加者数：44人

④手話勉強会

- 事業説明：当センターの聴覚障がいのピアサポーターが講師となり、在宅障がい者などを対象に手話の勉強会を実施。
- 開催日時：第4木曜日（13:30～15:00）
- 開催場所：メイトム宗像内
- 参加費：無料
- のべ参加者数：46人

(3) 障害者生活支援センターのその他の関連事業

■会議や研修への参加・協力

会議・研修名	実施時期
ピアサポーター会議	月2回開催
障害者自立支援協議会 事務局会議	月1回開催
障害者自立支援協議会 本会議	5月26日、11月14日、2月17日
宗像市あゆみの会総会出席	5月21日
障害者自立支援協議会 相談支援ネットワーク会議	6月19日、12月12日
障害者自立支援協議会 生活部会	9月12日
障害者自立支援協議会 就労部会	6月24日、9月30日、2月24日
相談支援従事者初任者研修	9月11日～12日、10月24日、11月27日～28日
市障害福祉計画検討委員会	8月7日、10月3日、11月4日、12月17日
市登録手話通訳者等連絡会	10月9日
自立支援協議会事務局会議担当者会議	10月27日
高鍋町視察受け入れ	11月11日
宗像・遠賀・中間地域精神障害者地域支援実務者会議	12月3日
心の健康づくり講演会	1月13日
障害者虐待防止研修	1月15日
福岡県虐待防止研修会	1月28日、29日
福岡県虐待防止事例検討会	3月4日
重症心身障害児者の相談に対応できる相談支援従事者研修	3月5日、6日
ゲートキーパーフォローアップ研修	3月9日
福岡県相談支援従事者専門コース別研修	3月10日
改正精神保健福祉法に関する業務従事者研修会	3月11日
福岡県発達障害者支援体制整備検討委員会	3月19日

(4) 宗像市登録手話通訳者等派遣事業

■事業説明：聴覚、言語機能または音声機能の障がいのため他者との意思疎通を図ることに支障がある障がい者等に対し、市が登録した手話通訳者または要約筆記者を派遣し、意思疎通の円滑化を図ることを目的に事業を実施。

■派遣申請者数（人数）

派遣申請者数	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
		57 人	43 人

■派遣内容（件数）

項目／月	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
① 手続・相談	8 件	12 件	9 件
② 医 療	71 件	49 件	28 件
③ 職 業	0 件	0 件	0 件
④ 教 育	3 件	5 件	0 件
⑤ 会議・講演	10 件	0 件	0 件
⑥ その他	1 件	1 件	1 件
計	93 件	67 件	38 件

■派遣区分（件数）

項目／月	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
① 手話通訳等	77 件	51 件	23 件
② 要約筆記等	16 件	16 件	15 件
計	93 件	67 件	38 件

(5) 宗像市障害者虐待防止センター事業

① 宗像市障害者虐待防止センター事業実績報告

■事業説明：「障害者の虐待防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律」により平成 24 年度から宗像市の委託事業として受託。障害者虐待の早期発見と発生防止、ならびに障害者虐待が起きないように個々のケース対応を充実するとともに、市民や障害者福祉サービス事業者への周知が主な役割。

■対応件数

項目／月	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
① 通報受理	0 件	2 件	11 件
② 事実確認実施	0 件	1 件	15 件
③ 虐待と判断	0 件	1 件	2 件
④ 相談・指導・助言	20 件	11 件	23 件
人 数	11 人	6 人	11 人

② 家庭訪問等個別支援事業

■障害者虐待の未然防止のため、過去に虐待があった障害者の家庭等を訪問し家族関係の修復や不安の解消に向けた支援を行う。

■家庭訪問件数：12 件

■人数：9 人

③ 宗像市障害者虐待防止研修会の実施

■事業説明：障がい者への虐待防止ならびに早期発見、適切な援助につなげるため、市内の相談支援事業所等を対象に障害者虐待防止法の理解と権利擁護への理解を深める研修を実施しました。

■実施日：平成 27 年 1 月 15 日

■場 所：メイトム宗像 202 会議室

■参加者：相談支援事業所職員等 53 人

■内 容：「障がい者虐待防止と権利擁護」

■講 師：翼・篠木法律事務所 代表弁護士 篠木潔 氏

14 大島福祉センター「ふれ愛センター」運営事業

■宗像市指定管理運営事業

(1) 大島福祉センター「ふれ愛センター」運営事業

■事業説明：大島福祉センター「ふれ愛センター」の指定管理を受け社会福祉協議会が運営しています。

■運営体制：●館長（兼任）1人 ●事務員1人

■大島福祉センター「ふれ愛センター」年間利用者集計表

	高齢者	一 般	中学生以下	島 外	計	対前年比較
平成26年度	2,089人	528人	42人	196人	2,855人	155人
平成25年度	1,732人	735人	33人	200人	2,700人	287人
平成24年度	1,510人	649人	56人	198人	2,413人	

■利用施設別のべ利用者数

	1階和室	2階会議室	いこいの部屋	調理実習室	計	対前年比較
平成26年度	2,708人	79人	88人	1,884人	4,759人	398人
平成25年度	2,556人	86人	39人	1,680人	4,361人	562人
平成24年度	2,293人	26人	62人	1,418人	3,799人	

■施設利用料金実績ならびに施設稼働日数

	稼働日数 (日)	1階和室 (円)	2階会議室 (円)	調理実習室 (円)	計	対前年比較
平成26年度	256日	7,570円	0円	0円	7,570円	-30,980円
平成25年度	256日	27,400円	3,350円	7,800円	38,550円	-650円
平成24年度	249日	28,250円	1,050円	9,900円	39,200円	

(2) 大島福祉センター「ふれ愛センター」健康・福祉ミニまつりの開催

■実施日：6月28日（土）

■内 容：身体測定コーナー、骨密度測定、テーピング指導、ハンドマッサージ、お茶の間筋トレ、健康ミニ講座（テーマ①：嚥下障害予防の健口体操、テーマ②：漢方薬について）、ミニバザーなど

■参加者：82人

15 介護保険事業の適切な運営

(1) 訪問介護事業

■事業説明：介護保険利用者の訪問介護計画に基づき、自立支援を目標とした介護サービスの提供を行う。（介護予防訪問介護事業含む）

延べ利用者数	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	1,782人	1,756人	1,693人
	対前年比較	-26人	-63人

新規利用者数	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	39人	31人	40人
	対前年比較	-8人	9人

要介護度別延べ利用者数 (単位:人)	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	対前年 比較
平成 26 年度	464	552	408	207	18	33	11	1,693	-63
平成 25 年度	461	617	363	221	52	33	9	1,756	-26
平成 24 年度	409	603	389	228	66	66	21	1,782	

■介護サービス種別サービス提供時間数

項目/月	生活援助	身体介護	身体生活	介護予防	計	対前年比較
平成 26 年度	4,440.0h	850.5h	838.0h	4,692.5h	10,821.0h	-805.0h
平成 25 年度	5,152.0h	967.0h	526.5h	4,980.5h	11,626.0h	-977.5h
平成 24 年度	4,957.0h	1,237.0h	1,275.5h	5,134.0h	12,603.5h	

(2) 居宅介護支援事業

■事業説明：介護保険利用者の立場に立ち、居宅介護支援サービスの作成、管理、更新等を行い個々の利用者に最適な介護サービスの提供を行う。(介護予防支援事業含む)

要介護度別延べ利用者数 (単位:人)	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	対前年 比較
平成 26 年度	272	392	958	648	183	160	91	2,704	214
平成 25 年度	183	435	875	568	186	147	96	2,490	-12
平成 24 年度	205	380	794	624	231	147	121	2,502	

【介護給付】 延べ利用者数	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
	1,917 人	1,872 人	2,044 人
	対前年比較	-45 人	172 人

【予防給付】 延べ利用者数	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
	585 人	618 人	660 人
	対前年比較	33 人	42 人

新規利用者数	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
	70 人	76 人	60 人
	対前年比較	6 人	-16 人

16 指定障害サービス事業の適切な運営

(1) 居宅介護事業・同行援護事業

■事業説明：障がい者の介護、家事の支援や視覚障害者の外出支援を行う。

利用者数	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
	256 人	257 人	204 人
	対前年比較	1 人	-53 人

サービス提供時間	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
	2,178.0 h	2,398.5 h	1,710.5h
	対前年比較	220.5 h	-688.0h

17 市受託事業の適切な運営

(1) 生活管理指導員事業（市受託事業）

■事業説明：市が必要と認めた高齢者世帯と単身高齢者に対し、日常生活上の支援・指導を行う。

利用者数	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
	160 人	100 人	37 人
	対前年比較	-60 人	-63 人

サービス提供時間	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
	450.0 h	281.0 h	105.0h
	対前年比較	-169.0 h	-176.0h

(2) 地域生活支援事業（移動支援）

■事業説明：障害者の外出支援を行う。

利用者数	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
	42 人	50 人	48 人
	対前年比較	8 人	-2 人

サービス提供時間	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
	168.5 h	199.0 h	214.0h
	対前年比較	30.5h	15h

(3) いきがい活動通所事業（大島ミニデイサービス）によるホームヘルプサービス事業

■事業説明：虚弱高齢者、単身高齢者などに、生きがいつくりや心身機能の維持向上を図るために、食事や入浴、レクリエーションなどの活動を行う。

利用者数	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
	183 人	231 人	250 人
	対前年比較	48 人	19 人

(4) 要介護認定調査業務

■事業説明：市から委託を受けて要介護認定調査を行う。

要介護認定調査件数	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
	2,856 件	2,735 件	2,769 件
	対前年比較	-121 件	-34 件

18 スマイルハート事業

(1) スマイルハート事業

■事業説明：介護保険適応外の家事援助サービス及び身体介護サービスを提供し、在宅での自立支援を行う。

延べ利用者数	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
	405 人	376 人	305 人
	対前年比較	-29 人	-71 人

サービス提供時間	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
	2,610.0 h	2,409.5h	1,752.0h
	対前年比較	-200.5 h	-657.5h

19 発達支援センター療育施設「のぞみ園」運営事業

■宗像市委託事業

(1) 発達支援センター療育施設「のぞみ園」運営事業

■事業説明：さまざまな障がいのある子どもたちとその保護者を、通園の方法により療育を行い、支援していくことを目的として設置された施設。実施主体は宗像市で社会福祉協議会が受託・運営している。

■事業内容：

- ・保育活動を中心とした総合的な療育と支援を行う。
- ・作業療法士による機能訓練、感覚統合訓練や言語聴覚士によるコミュニケーション支援とともに、子どもに関する悩みをそれぞれの専門の先生方が聞き、相談に応じる。
- ・水泳の指導を専門の指導員が週一回行う。(金曜日)
- ・嘱託医による定期的な健診やカンファレンスにより、子どもの発達を医学的な見地からみる。

■運営体制

①園長（兼任）：1人	②児童発達支援管理責任者：1人	③専任指導員：3人	④作業療法士：2人
⑤言語聴覚士：1人	⑥プール指導員：1人	⑦臨時指導員：4人	⑧託児スタッフ：7人
⑨嘱託医：1人			

(2) 発達支援センター療育施設「のぞみ園」運営事業実績

①年齢別男女別障害別園児状況

年齢	男子	女子	障害区分								累計
			発達障害			知的障害	視覚障害	身体障害	重複障害	その他	
			PDD		未診断						
			知的有	知的無							
1歳	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
2歳	3	1	1	0	1	1	0	0	1	0	4
3歳	12	3	4	4	5	1	0	0	1	0	15
4歳	26	4	5	2	5	15	0	1	0	2	30
5歳	23	6	8	3	12	3	0	0	1	2	29
6歳	45	11	7	21	17	5	0	2	0	4	56
計	110	25	25	30	40	25	0	3	4	8	135

※単位：人

②年度・年齢別園児数

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度
1歳	0人	1人	1人
2歳	7人	9人	4人
3歳	9人	23人	15人
4歳	24人	18人	30人
5歳	35人	41人	29人
6歳	42人	40人	56人
計	117人	132人	135人

③園児数の推移

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度
入園者数	51人	62人	48人
退園者数	3人	47人	44人

④療育日と人数の実績

項目	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
療育日数	241 日	244 日	243 日
実績延人数	2,855 人	3,063 人	2,865 人
一日平均利用人数	11.8 人	12.5 人	11.8 人

⑤兄弟児託児状況

■事業説明：母子通園は、保護者が子どもとしっかりと向き合い共に療育することを目的としている。よって利用者に兄弟児がいる場合は、兄弟児の託児保育を行っている。また勉強会・保護者会などに保護者が安心して参加・集中できるように兄弟児の託児を行っている。託児の利用料は一回につき 500 円。

■運営体制：登録 7 名

延べ利用人数	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
	262 人	368 人	369 人

⑥送迎利用状況

延べ利用回数	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
	614 回	578 回	344 回

(3) 発達支援センター療育施設「のぞみ園」訓練等の状況

①言語聴覚士の関わり

■週 3 回程度。その他、個人懇談・関係機関との連携等

項目	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
個別検査・訓練	277 人	288 人	310 人
集団ことば遊び	23 回	13 回	17 回

②作業療法士の関わり

■週 1 回程度。その他、個人懇談・関係機関との連携等

項目	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
個別検査・訓練	136 人	153 人	156 人
集団ことば遊び	10 回	4 回	0 回

③個別保育

延べ利用人数	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
	558 人	550 人	507 人

④嘱託医の健診・ケースカンファレンス

実施時期	参加者数	主な活動内容
5 月 28 日	3 人	内 容：ケースカンファレンス
6 月 25 日	3 人	内 容：嘱託医健診
10 月 15 日	4 人	内 容：ケースカンファレンス
11 月 26 日	3 人	内 容：嘱託医健診
12 月 24 日	3 人	内 容：ケースカンファレンス

(4) ぱんだルームの状況

■事業説明：宗像市乳幼児健診後のフォロー事業として、専門的な支援が必要な幼児を対象に、遊びを通して子どもの発達と子育てを支援。月に1・2回程度開催。

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度
実施回数	17回	18回	17回
延べ利用人数	134人	135人	99人
兄弟児数	—	63人	10人

(5) その他の取り組み

①児童福祉法に基づく宗像市発達支援センター療育施設のぞみ園の経営方針の検証

■実施内容：

- 4月に筑紫野市「スマイルキッズ」の視察研修を行い、施設の経営状況や支援体制について情報交換を行う。
- 8月に利用児の状況や利用児人数の推移、それに伴う職員配置の状況と現在の問題点などの中間報告・評価及び業務改善の報告書を作成し、発達支援センターに報告する。
- 報告書をもとに園内で検討を行い、9月より利用児のニーズに沿った職員配置とクラス編成を実施する。
- 2月に「パレット」の視察研修を行い、施設の経営状況や支援体制について情報交換を行う。

②保育所、幼稚園、小学校への訪問支援の取組

- 事業説明：園児が、各保育所及び幼稚園、小学校への入園・入学が円滑に行えることや、安定した園生活が過ごせる為のサポートとして実施。
- 実施内容：6月、10月、2月の面談での聞き取りの中から、保護者から出た相談内容をもとに園や学校と情報交換等を行った。また、春休みや夏休み、今年度に限っては12月のメイトム改修工事で休園となった期間を利用し、情報交換を行った。その他に、保護者や園からの要望に応じて随時情報交換を行った。

③職員の資質向上に向けた症例検討会や園内研修会の実施

■実施内容

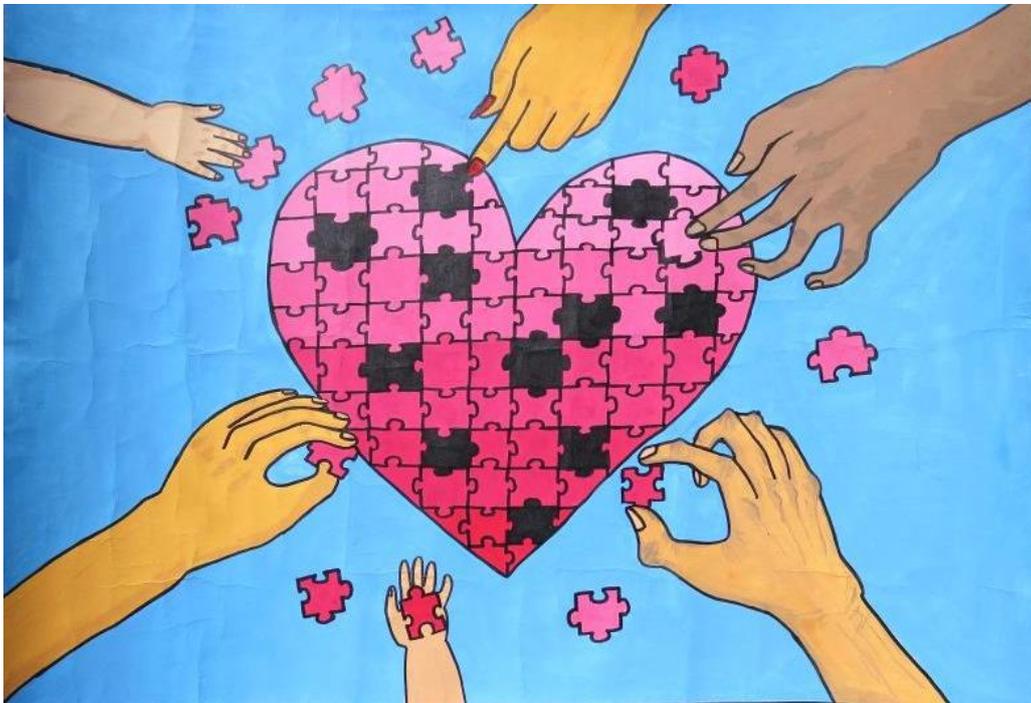
実施日	主な活動内容
8月21日	ケース検討会の実施
10月30日	「体と心を育てる支援」研修会
11月21日	「記録記載について」研修会
11月27日	「ことばを育む支援」研修会
12月25日	「Wisc-IV 発達検査」研修会

④保護者向け勉強会の実施

■実施内容

実施日	主な活動内容
5月27日	テーマ：「ことばを育む関わり」 講師：言語聴覚士 松延 孝代 参加人数：29人
7月16日	テーマ：「体験版アロマセラピー」 講師：アロマインストラクター 梅崎 友子 参加人数：15人
11月27日	テーマ：「子どもの発達を促す感覚統合」 講師：OTR/特別支援教育士 豊島 真弓 参加人数：22人
1月14日	テーマ：「サーポートブックづくり」 講師：各スタッフ 参加人数：18人

平成 26 年度
事業報告書資料集



平成 26 年度福祉絵画コンクール中学生の部金賞受賞作品

テーマ：「小さな幸せから大きな幸せ」

作 者：日の里中学校 水上 桃歌

■ 社会福祉協議会ならびに本会の概況

1. 社会福祉協議会の位置付け

(1) 社会福祉協議会の位置づけ

社会福祉協議会は、社会福祉法第 109 条に「地域福祉の推進を目的とする民間の中心的な団体」として規定されている。また、社会福祉協議会の組織構成や事業等も社会福祉法に定められており、その活動は「民間性」と極めて高い「公共性」が特徴である。

(2) 宗像市社会福祉協議会の位置づけ

本会は、前記の法的位置づけ、ならびにその特徴と事業実績により、宗像市の総合計画や各種福祉計画には、福祉行政の一翼を担い、民間の福祉活動を推進する中心的な団体として位置づけられてきた歴史がある。

(3) 宗像市社会福祉協議会の活動方針

本会の活動方針は、平成 22 年 7 月に第二次計画の見直しと次代に適応する社会福祉協議会活動の基本理念や実施計画等を取りまとめた**第四次地域福祉活動計画**（計画年度：平成 27～36 年度。以下「第四次計画」という。）による。第四次計画には、本会の基本的な活動方針として以下の項目を掲げている。

- ①住民主体・住民参画による社会福祉協議会活動の推進
- ②住民自治活動としての地域福祉の推進
- ③社会的包摂にむけた生涯学習としての福祉教育の推進
- ④行政および地域福祉推進団体などの協働者としての社会福祉協議会の確立
- ⑤利用者本位の福祉サービス供給体制の強化
- ⑥法人経営体制の強化

2. 宗像市社会福祉協議会の経過

年 度	主な内容
昭和 34 年	・任意団体として宗像町社会福祉協議会が発足
昭和 45 年	・社会福祉法人として認可
～昭和 57 年	・東部児童館事業受託 ・老人・心身障害児・身体障害者家庭奉仕員派遣事業受託 ・ボランティア育成事業開始
昭和 60 年	・福祉ボランティア活動連絡協議会設立 ・宗像市社会福祉協議会基盤強化計画書策定
昭和 61 年	・福祉教育推進指定校事業開始
昭和 62 年	・小地域福祉会組織化事業開始（地区福祉懇談会開始） ・障害児通園事業「のぞみ園」受託
昭和 63 年	・宗像ユリックス内に社会福祉センター完成・本会移転 ・愛のネットワーク活動、福祉の里づくり事業開始 ・自由ヶ丘地区社会福祉会発足 ・電話訪問相談事業開始（～平成 10 年度）
平成元年	・やさしさ宅配人（愛のネットワーク活動協力員）登録事業開始
平成 8 年	・第一次地域福祉活動計画書策定
平成 9 年	・在宅介護者組織化事業開始
平成 10 年	・総合保健福祉センター「メイトム宗像」完成・本会移転
平成 12 年	・介護保険制度の実施にともない居宅介護支援事業・訪問介護事業開始 ・要介護認定調査業務・軽度生活援助事業受託 ・障害者生活支援事業受託
平成 13 年	・ボランティアセンター事業受託 ・在宅介護者の会ひまわり発足、在宅介護者組織化事業から支援事業へ

平成 14 年	<ul style="list-style-type: none"> ・宗像市・玄海町社会福祉協議会合併合同委員会設置 ・(新) 宗像市社会福祉協議会誕生 (平成 15 年 3 月 31 日)
平成 15 年	<ul style="list-style-type: none"> ・玄海 4 地区に小地域福祉会の組織化
平成 16 年	<ul style="list-style-type: none"> ・宗像市・大島村社会福祉協議会合併合同委員会設置 ・(新) 宗像市社会福祉協議会誕生 (平成 17 年 3 月 31 日) ・第二次地域福祉活動計画書策定
平成 17 年	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会福祉教育推進計画書策定
平成 18 年	<ul style="list-style-type: none"> ・機能訓練 B 型 (いきいきふれあいサロン) 事業を介護予防いきいき交流会事業へ移行 ・障害者自立支援法による指定相談支援事業、障害福祉サービス事業、地域生活支援事業を開始
平成 20 年	<ul style="list-style-type: none"> ・「メイトム宗像」が市民活動交流館としてリニューアル ・「宗像市ボランティアセンター」が市民活動ボランティア NPO センターの一部となる ・「のぞみ園」が発達支援センター療育施設の一部となる
平成 21 年	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉の推進に関する市民の意識調査を実施 ・非常・災害時職員行動計画書 (平成 21 年度版) 作成 ・第三次地域福祉活動計画策定委員会設置
平成 22 年	<ul style="list-style-type: none"> ・第三次地域福祉活動計画書策定 ・第二次経営改善計画策定 ・市窓口ワンストップサービス化にともない障害者生活支援センターが宗像市役所内に移転
平成 23 年	<ul style="list-style-type: none"> ・第二次福祉教育推進計画策定 ・東日本大震災救援・復興ボランティアとして職員を派遣
平成 24 年	<ul style="list-style-type: none"> ・市保健福祉会館 (ゆうゆうふらざ) の閉館に伴い本会玄海支所を廃止 ・障害者基幹型相談支援センター事業を受託 ・宗像市障害者虐待防止センター事業を受託 ・宗像市社協自動販売機設置開始
平成 25 年	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフサポート事業開始 ・認知症サポーター養成講座事業を受託
平成 26 年	<ul style="list-style-type: none"> ・福津市・古賀市社会福祉協議会と災害時相互協力協定を締結 ・宗像青年会議所と災害時相互協力協定を締結

■用語の説明

【あ】

ICF

ICFは、2002 (平成 13) 年にWHOが発表した国際生活機能分類である。ICFは、人間の生活機能と障がいについて「心身機能・身体構造」「活動」「参加」の三つのレベルで構成される「生活機能」としてとらえる。この三つのレベルは、「生命」「生活」「人生」と言い換えることができる。「生活機能」の三つのレベルが相互に、また「健康状態 (疾患等)」や「背景因子 (環境因子と個人因子)」との間で、相互作用を行うことを重視するのが ICF の生活機能モデルである。

いきいきふれあいサロン

当初福祉会が行っていた「ふれあい会食会」や「楽しく食べて語ろう会」などの【ふれあい活動】に、介護予防いきいき交流会事業 (市委託事業) による在宅虚弱高齢者への介護予防活動や簡単な健康チェック、機能訓練などを行う【いきいき活動】が取り入れられた事業。高齢者のとじこもり防止の要素もある。活動内容は、口腔ケアや栄養指導、運動指導などの介護予防活動と簡単な健康チェック、学習会、機能訓練 (レクリエーション)、交流事業などである。また、「いきいきふれあいサロン」に参加できない (参加しない) 高齢者への対応として、小地域ネットワーク活動との連携強化をすすめている。

【か】

限界集落

山間地や離島において過疎化などで人口の 50%が 65 歳以上の高齢者になり、自治会活動や冠婚葬祭など地域的共同生活（活動）の維持が困難になった集落のこと。

声の広報活動

視覚に障がいがある人々へ、宗像市の広報紙などを CD-R やカセットテープに録音して情報を届ける本会の障がい者福祉活動。現在「日の里テープの会」「日の里いずみの会」「森林都市うぐいす」の 3 団体にこの活動を委託している。

【さ】

社会的包摂

ソーシャルインクルージョン（social inclusion）は、「社会的排除」の問題を解決する社会政策の理念として語られる「社会的包摂」と同意語である。「排除と包摂」という概念は、古くから用いられてきたが、これらが社会政策の重要な概念として登場するのは 20 世紀後期のヨーロッパにおいてである。特にフランスでは、1970 年代以降、社会的不適応者（薬物依存者や非行少年など）や若年長期失業者、移民労働者など、既存の福祉国家の枠組みでは対応することが困難な人々の抱える問題が「新たな貧困」や「社会的排除」などの社会問題として認識されるようになり、このような人々を社会復帰させることが、社会政策上重要だと考えられるようになった。

社会福祉法第四条

地域住民、社会福祉を目的とする事業を営む者及び社会福祉に関する活動を行う者は、相互に協力し、福祉サービスを必要とする地域住民が地域社会を構成する一員として日常生活を営み、社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に参加する機会が与えられるように、地域福祉の推進に努めなければならない。

小地域ネットワーク活動

主に民生委員と福祉会の地域ケア型ボランティア（名称は福祉委員や福祉員など様々）が協力して、単身高齢者・高齢者夫婦のみ世帯などの定期的な見守り・訪問活動、情報提供活動、できる範囲での生活援助活動などを行っている。小地域ネットワーク活動は、昭和 63 年に民生委員協議会創設記念事業「愛のネットワーク活動」として福岡県では開始されたが、現在では、福祉会などの日常的な「生活支援活動」として取り組まれている。

スマイルハート

宗像市社会福祉協議会独自の家事援助・軽介護サービス。障がい者や高齢者世帯等を対象に日常生活に必要な家事援助・軽介護サービスをホームヘルパーが提供し、在宅で自立した生活ができるように支援する有償サービス。

生活困窮者世帯

厚生労働省社会保障審議会「生活困窮者の生活支援の在り方に関する特別部会」の報告書では、「生活保護に至る前の段階」「生活保護受給者」といった「経済的困窮者」が主な支援対象者として想定されているが、「地域から孤立している者」「複合的な課題を抱えている者」への対策の必要性も掲げられている。つまり、この報告書における生活困窮者とは、「経済的困窮」「孤立」「複合的課題」などの生活・地域問題を抱える人々のことで、具体的には「生活保護に至る前の段階」「生活保護受給者」といった「経済的困窮者」や「ひきこもりの人」や「ゴミ屋敷生活している人」、「ホームレス」「生活困難を抱える精神・知的・発達障がいがある人」などと考えられる。

生活福祉資金貸付制度

低所得者（離職者）または障がい者、高齢者を対象に、小口の資金貸し付けと必要な援助、指導を行うことにより、その経済的自立および生活意欲の助長促進、ならびに在宅福祉・社会参加の促進を図り、安定した生活を営めるようにすることを目的とした制度。実施主体は、福岡県社会福祉協議会。

ソーシャルインクルージョン (social inclusion)

※「社会的包摂」参照

【た】

地域包括ケアシステム

「地域包括ケアシステム」とは、介護が必要になった高齢者も、住み慣れた自宅や地域で暮らし続けられるように、「医療・介護・介護予防・生活支援・住まい」の五つのサービスを、一体的に受けられる支援体制のこと。

【な】

ノーマライゼーション

一般的には「共生社会」と訳されることが多い。どのような障がい者や高齢者、児童であっても人格を尊重され、人として同じ権利を享受し、地域社会（在宅）で主体的な生活と社会参加が保障されるのが正常（ノーマル）な社会であるという思想に基づき、地域の人々の正常な生活を実現していく取り組みを意味する。今日的には地域福祉や共生の基本的思想である。

【は】

ファンドレイジング

ファンドレイジング (Fundraising) とは、民間非営利団体 (NPO) が、活動のための資金を個人、法人、政府などから集める行為の総称。主に民間非営利組織の資金集めについて使われる用語。社協では「自主財源の確保」に関連する事業に使われる。

福祉社会

生活課題、福祉問題を抱える要援護者が生活する小地域を活動範囲とし、要援護者の福祉問題をその人だけの問題とせず、地域住民みんなの問題として捉え、その解決策を考えたり予防したりするために、地域住民が組織的に福祉活動を推進する住民の自主的な組織。現在一般には「福祉社会」と呼ばれ、市内 13 コミュニティを活動範囲とする福祉社会を「地区福祉社会」、行政区を活動範囲とする福祉社会を「小地域福祉社会」という。